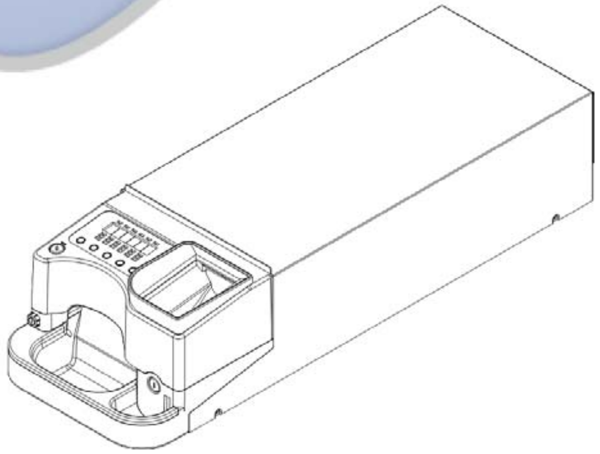
小型硬貨釣銭機
ＣＴ－２０
取扱説明書



日本金銭機械株式会社

本マニュアルの著作権は、日本金銭機械株式会社（「当社」といいます）に帰属し、本マニュアルの内容は、日本及び外国の著作権法により国際的に保護されています。
また、本マニュアルは、当社が作成した著作物及び特許発明に属する多くの項目を含みますので、何人も当社の許諾を得ずに本マニュアルの一部又は全部を複写し又は本マニュアルの内容を実施することは違法行為になることがあります。当社は、予告なしに、必要に応じて本マニュアル及び製品の改定等を行う権利を留保します。

Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

はじめに

このたびは、当社の製品をお買い上げくださいまして、誠に有難うございます。

○本取扱説明書は、設置、整備および日常の保守を正しく行っていただけること、そして、製品の管理を行う方、製品の操作を行う方の安全が確保されることを配慮して、製品の説明をしております。

○ 製品の特徴および取扱い方法をご理解いただくため本説明書をよくお読みになり、製品を正しくご使用ください。
お読みになった後、いつでも参照できるように、大切に保管して下さい。
万一、ご使用中にわからないことや不都合が生じたときにご覧下さい。

○ 本製品の仕様は、改良のため予告無しに変更する場合があります。

今後も、当社の製品をよろしくお願いいたします。

製品の特徴

○レジスターやPOSシステム機などに接続することにより、釣銭が正確・確実・迅速に収納または払い出しを行うことができ、レジスターの効率化を図れます。

○小型硬貨釣銭機は、幅広い用途に使用できます。小型・高機能タイプなので、従来通りのレジスターでの使用はもちろん、各種オフィスなど、出納マシンとしてもご利用いただけます。

○小型硬貨釣銭機は硬貨を6金種に分類し、自社の従来機より搬送速度がUPし、容量が増量されています。

○表示は見やすく、操作はわかり易いようにまとめました。

○入金された硬貨は、回収操作により硬貨出金部より出金されます。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されます。

Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

もくじ

はじめに 3

製品の特徴........ 3

安全確保のための警告表示........ 5

取扱い上の注意........ 6

概　要 9

CT－20本体の確認 9

1．マシン外側の確認 9
2．付属品の確認 9

CT－20外観図 10

1．各部の説明 10
2．ユニット構成 11
3．内部ユニットについて........ 12
1）内部ユニットの引出し方 12
2）搬送アッパーの開き方 12
3）硬貨集積部の開き方と集積ユニットの外し方 13
4）集積ユニットのセットと硬貨集積部の閉じ方 14
5）スタックプレートの設置 15

操作部について 16

1．表示部①........ 16
2．表示部②........ 16
3．表示部③........ 17
4．操作キー........ 17
5．コントロール錠 17

操作のしかた 18

1．釣銭を準備する 18
2．釣銭の払出と投入 19
3．装置内の硬貨枚数を確認する 20
4．装置内の硬貨を回収する 21

エラーが発生したら 26

1．エラー解除方法 29
2．各種メッセージ表示「表示部②」 33

日々のお手入れ........ 35

1．清掃箇所........ 35
2．毎日のお手入れ 36
3．センサのお手入れ（1） 37
4．センサのお手入れ（2） 38
5．搬送ベルトのお手入れ........ 39
6．清掃LEDについて 40

設置場所について........ 42

1．設置例 42
2．外形寸法図 43
3．設置寸法........ 43

製品仕様 44

Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

安全確保のための警告表示

この取扱い説明書では、注意すべき事項や危険な行動に対して、ランク付けを行って記載しています。

警告・注意・確認の内容

⚠ 警 告

この内容を無視しますと、人命にかかわる障害、あるいは大きな物的損害が起こる可能性があります。この取扱説明書をよくお読みになり、取扱いには充分注意してください。

⚠ 注 意

この内容を無視しますと、ささいなケガや物的損害を受ける可能性があります。
慣れから起きますケガや物的損害が大半です。気をつけてご使用下さい。

⚠ 確 認

操作上の確認や参考事項を説明しています。
ケガや損害を受けることはありませんが、誤動作や操作ミスを防ぐためにも必ずお読み下さい。

図記号の意味

一般的な禁止

改造禁止

手ぬれ禁止

火気禁止

水ぬれ禁止

一般的な
強制指示

アース線を必ず
接続して下さい

コンセントから電
源プラグを抜く

一般的な注意・
警告・危険・確認

Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

取扱い上の注意

以下の記載事項をよくお読みになり、マシンを取り扱うときには充分にご注意ください。

⚠ 警 告

この内容を無視しますと、人命にかかわる障害、
あるいは大きな物的損害が起こる可能性があります。

改造禁止

●本説明書に記載していること以外の修理が行われている、または許容している範囲外の変更が行われているなどの『マシンの改造や分解』は、思わぬ事故や故障の原因となります。

<u>**マシンの改造や分解は、絶対に行わないでください。**</u>

当社の許容している範囲外のマシンの改造や分解による事故や故障につきましては、責任を負いかねますので、ご了承ください。

●基板の改造やテスターによる通電検査は故障の原因となります。

修理の依頼

●マシンから煙が出ている、変なニオイがする、または原因のわからない故障が起きたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めになられたところへご連絡ください。

火気禁止

●マシンの内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。

電源プラグ
を抜く

●万一、異物(金属片・水・液体など)がマシンの内部に入った場合は、マシンの電源スイッチを切ってから電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めになられたところへご連絡してください。そのまま使用すると、火災・漏電・感電の恐れがあります。

アース線を
必ず接続

●アースは必ず取ってください。アースを取っていないマシンに漏電等が発生すると、感電する可能性があります。お客様やサービスマンにケガを負わさないためにもアースは必ず取ってください。

禁 止

●電源プラグのアース端子は決して切断したり取外したりしないでください。
電源コードをキズつけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重い物をのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災・漏電・感電の恐れがあります。

電源プラグ
を抜く

●電源プラグの抜き差しは、必ず電源プラグを持って行ってください。
●電源コードを引っ張ったり、濡れた手で取り扱うとショートや感電する恐れがあります。
●長期間ご使用にならない時は、電源プラグをコンセントより抜いて下さい。

Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

⚠ 警 告	この内容を無視しますと、人命にかかわる障害、 あるいは大きな物的損害が起こる可能性があります。
禁 止	●本説明書に記載されている環境下にてご使用下さい。間違った環境下で使用されますと火災・ケガ・感電の原因になります。 ●製品を使用するときは本説明書に定められた電源に接続してください。
禁 止	●電源コードを延長したり、タコ足配線をしないで下さい。必ず専用のコンセントをご使用下さい。火災の原因になります。 ●電源コードの上に重いものを置いたり、折り曲げたり、熱いものの近くに通したりしないで下さい。
水ぬれ禁止	●製品の上に液体の入ったコップなどを置かないで下さい。液体がこぼれて製品内部に侵入すると、火災の原因になります。
禁 止	●硬貨投入口やスキマなどからクリップやホッチキスの針等の金属が入らないようにして下さい。内部で電気回路に接触するとショートし火災の原因になります。
手ぬれ禁止	●本体及び電源コード・電源プラグに触れるときは、濡れた手で触らないで下さい。感電するおそれがあります。
電源プラグを抜く	●清掃する場合はマシンの機構部が作動すると危険ですので、点検や清掃を行う前には、必ず、電源を『OFF』にし、電源プラグをコンセントより抜いてから行ってください。
廃棄禁止	●本製品はリチウム電池を搭載しておりますので、専門の廃棄業者に依頼して下さい。屋外での放置は環境汚染や事故発生の恐れがあります。

Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

⚠ 注 意

この内容を無視しますと、ささいなケガや物的損害を受ける可能性があります。
慣れから起きますケガや物的損害が大半です。気をつけてご使用下さい。

移設方法

●本体を移設する場合は、お買い求めの販売店にご相談下さい。設置が不完全の場合は事故及び感電の原因になります。また、お客様で移設する場合は、硬貨を入れたままでの移動は故障の原因になりますので、必ず硬貨の回収を行ってください。

設置場所

●設置場所は本説明書に記載されている条件下に設置して下さい。過重に耐えられない場所・傾いた場所や不安定な場所に設置しないで下さい。
●設置場所は内部ユニットの開閉が十分可能な場所に設置して下さい。

一般的な注意

●製品の内部ユニットを引出すときは、本説明書の指示に従って下さい。誤った操作はケガをする恐れがあります。

一般的な注意

●本体外装の清掃には乾いた布をご使用下さい。シンナー・ベンジンなどの揮発性の高いものを使用するとマシンの表面を傷めます。特に汚れのひどいときは、市販のクリーナーをご使用下さい。
●操作部や表示部は、やわらかい布で軽くホコリをふき取って下さい。

●ホコリや振動の多い場所への設置は避けて下さい。
●直射日光の当たる場所への設置は避けて下さい。
●本体に重いものを載せたり、衝撃を与えたりしないで下さい。
●内部ユニットを引出す時に無理な力を加えないで下さい。
●ネジで固定しているカバーは無理に開けないで下さい。
緑色の取っ手・シール（A～D）の貼ってある箇所を持って、内部各所を引出したり、開けたりして下さい。

Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

概　要

本装置は、入金された硬貨の計数と釣銭の払い出しを行うことを目的とし、入金計数データを通信電文により上位側へ送信、また払い出しデータを受信することで釣銭金の払い出しを行う機械です。

本取扱説明書は、小型硬貨釣銭機の仕様や操作などを記述しています。

CT－20本体の確認

マシンは細心の注意を払って輸送されますが、搬入されたマシンに損傷はないか、マシンの外側などを充分確認してください。以下の確認項目の中で該当する項目があるとき、または不明な点があるときは、至急お買い求めになったところへご連絡ください。

ご連絡が遅かった場合や故意にマシンに傷つけた場合などは、保証できないことがありますので、お気をつけください。

１．マシン外側の確認

●マシンの外側に、くぼみ、割れ目、キズなどがある。

●電源コード（電源プラグ）に深い切り傷、切断などがある。

●操作ボタンが押せない。

２．付属品の確認

マシンに付属されているものは以下のとおりです。すべての品がそろっているかを確認してください。
万一、付属品に不足があったときは、お買い求めになられたところへ連絡してください。

○ キー

・コントロールキー　：　２個

・シリンダーキー　　：　２個

○ クリーニングキット

・綿　棒（中）・・・・・・・・5本

・ピンセット・・・・・・・・・・１本

・綿ハケ（絵筆）・・・・・・１本

・エアスプレー・・・・・・・１本

○ 電源コード（１本）

○ 通信用ケーブル（１本）

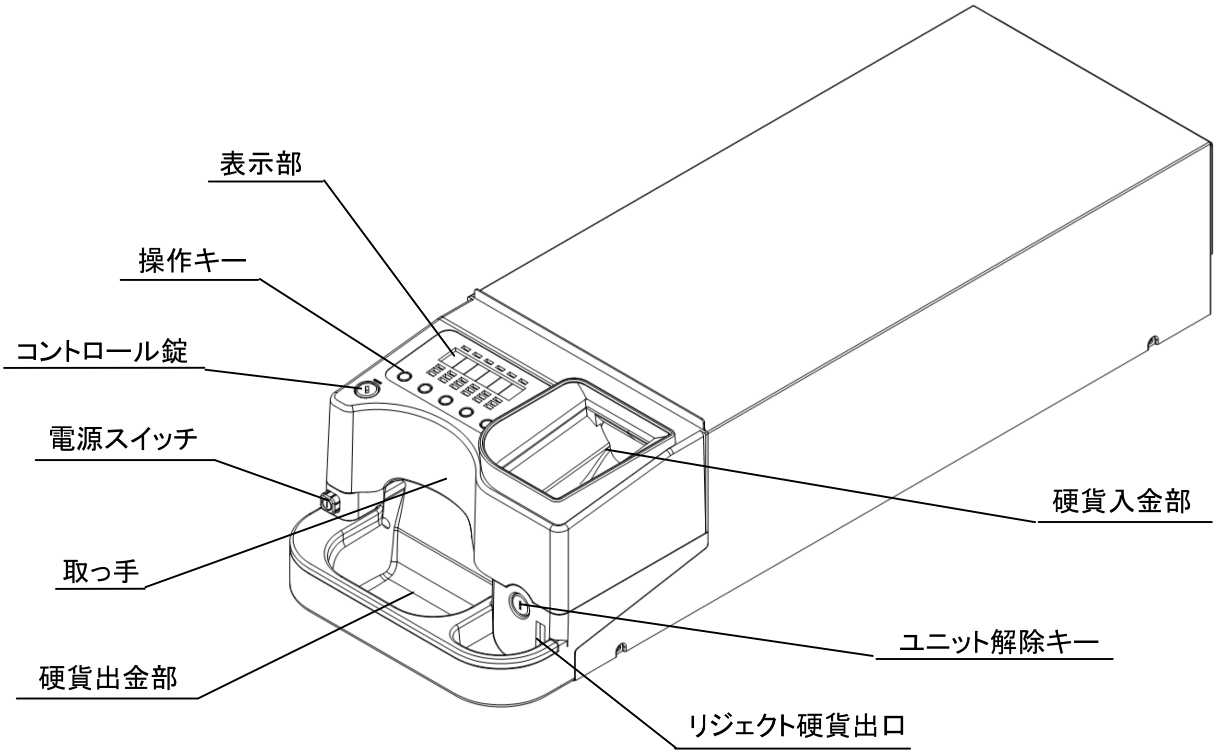
○ 取扱説明書（本書）

○ 金具取り付けネジ（３本）および装置本体取り付けネジ（２本）

○ 設置用金具（1個）

Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

CT－20外観図



1. 各部の説明

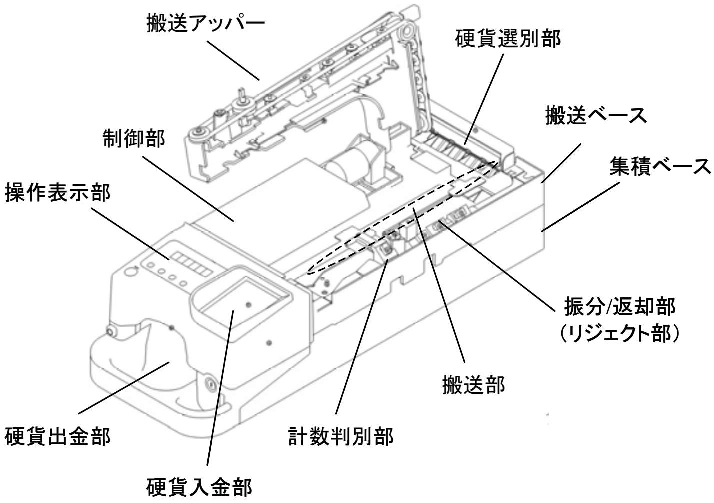
- 硬貨入金部 ･･････････････釣銭準備金や受け取り硬貨を投入するところです。
- 硬貨出金部 ･･････････････釣銭や回収硬貨が払い出しされるところです。
- 操作キー ･････････････････さまざまな操作をするための操作ボタンです。
- 表示部 ･･･････････････････釣銭金額やエラーコードなどの表示画面があります。
- コントロール錠 ･･････････運用と回収の切り換え時に使用する鍵です。
- ユニット解除キー ････内部ユニットのロックを解除します。
- 取っ手･･････････････････内部ユニットを引出す時と集積部を開閉する時に使用します。
- 電源スイッチ ･･･････････電源の“ON”⇔“OFF”のスイッチです。
- リジェクト硬貨出口 ････判別のできない硬貨とオーバーフローの硬貨が出てきます。

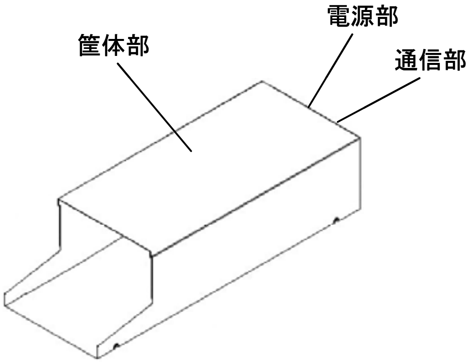
Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

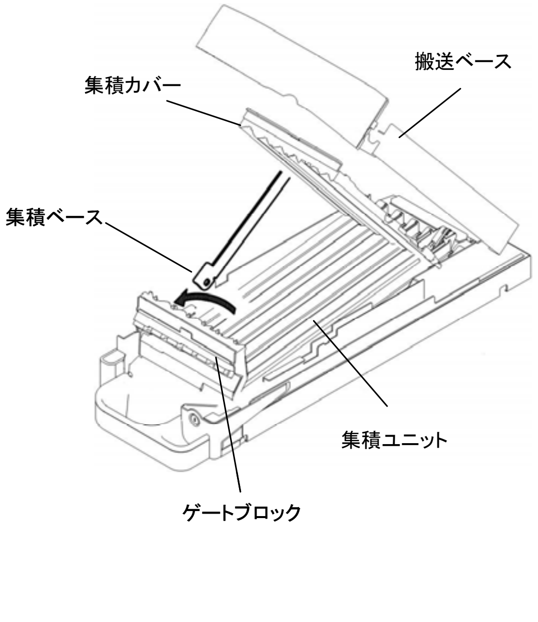
２. ユニット構成

小型硬貨釣銭機には、以下のような名称部・ユニットなどがあります。

・硬貨入金部
・計数判別部
・振分／返却部（リジェクト部）
・搬送部
・硬貨選別部
・集積部（集積ベース、集積カバー、集積ユニット）
・払出部（ゲートブロック）
・硬貨出金部
・表示操作部
・電源部
・制御部
・通信部
・筐体部







なお、本仕様および上記装置・ユニットは機能向上のため、予告なく変更する場合があります。

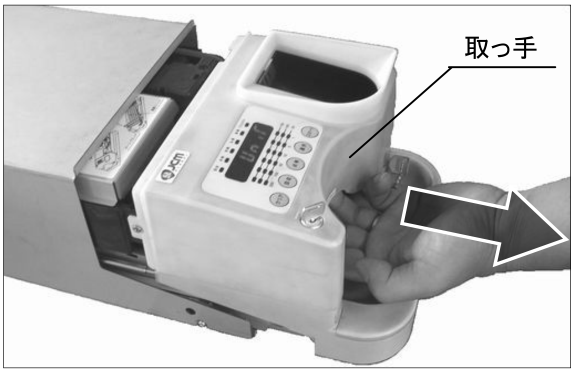
Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

3．内部ユニットについて

1）内部ユニットの引出し方

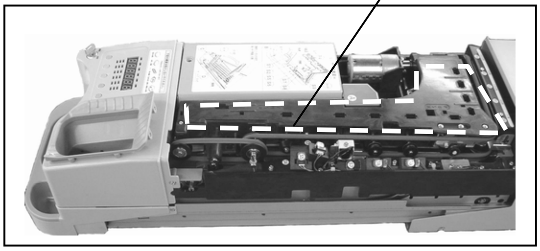
ユニット解除キーを回し、取っ手を持ち、内部ユニットを矢印の方向に最後まで引き出してください。また、取っ手の奥に手を入れすぎないように気をつけて下さい。

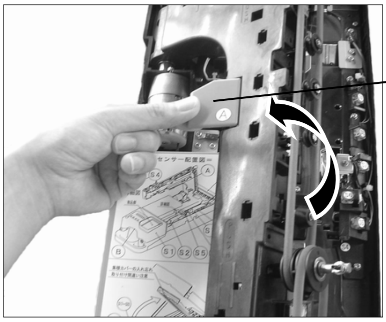
ユニット解除キー



2）搬送アッパーの開き方

搬送アッパー





1．搬送アッパーの開閉

内部ユニットを最後まで引き出し、搬送レバー「A」を引き上げ、搬送アッパーを持ち上げてください。

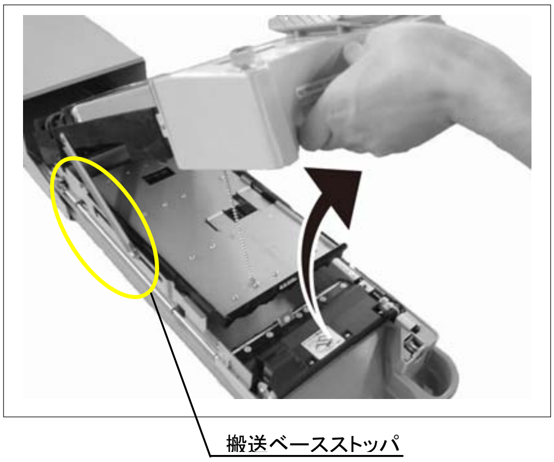
搬送アッパー開放図

Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

3）硬貨集積部の開き方と集積ユニットの外し方

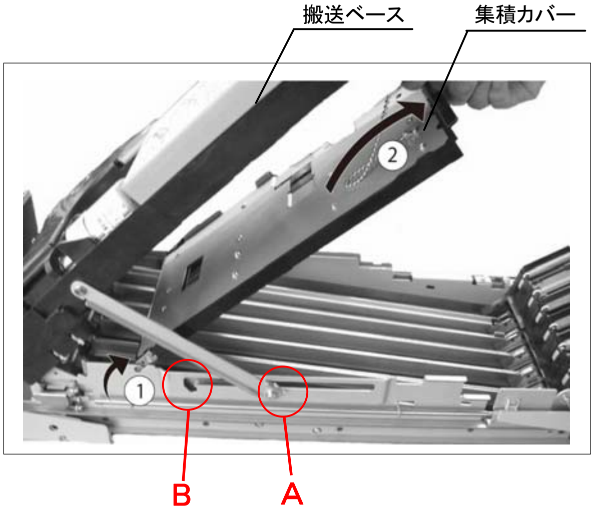
⚠ 確 認

集積ユニットを取り外す場合は、硬貨を全て回収してから行ってください。



1. 搬送ベースの開閉

内部ユニットを最後まで引き出し、搬送ベースを持ち上げます。ストッパーのロックがかかるまで引き上げてください。

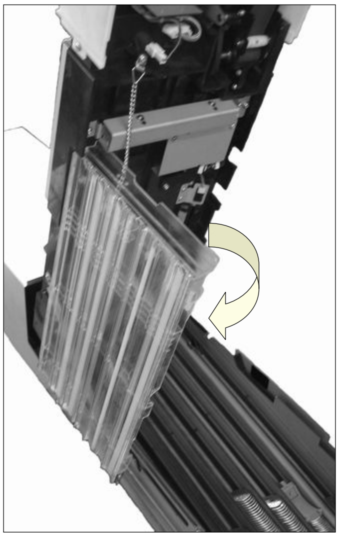


2. 集積カバーの取り外しと移動

① 搬送ベースを「A」のストッパーの位置で止めてください。

② 「A」の位置で集積カバーを矢印①の方向に引き上げてください。（「B」の位置では集積カバーが外れません。）

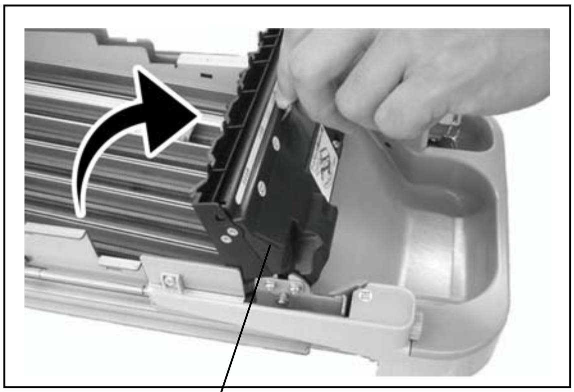
③ 矢印①をはずした後に、矢印②の方向に引き抜いてください。



④ 取外した集積カバーは、写真のように左側面に移動させてください。

⑤ 搬送ベースを持ち上げストッパーを「B」の位置で固定してください。

Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.



ゲートブロック

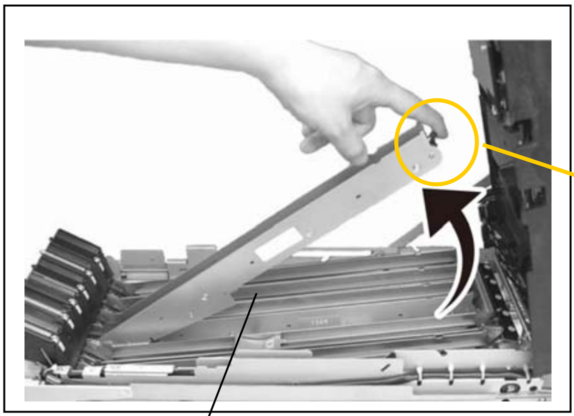
3. 集積ユニットの取り外し

① ゲートブロックの「C」のつまみを持って、持ち上げてください。

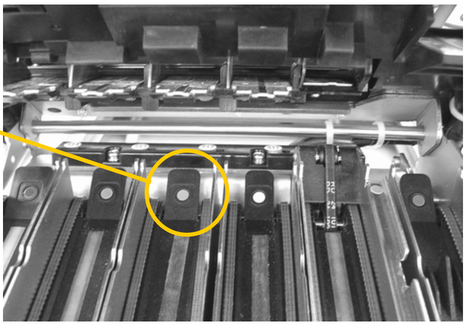
② 搬送ユニットを奥より持ち上げてください。

参考

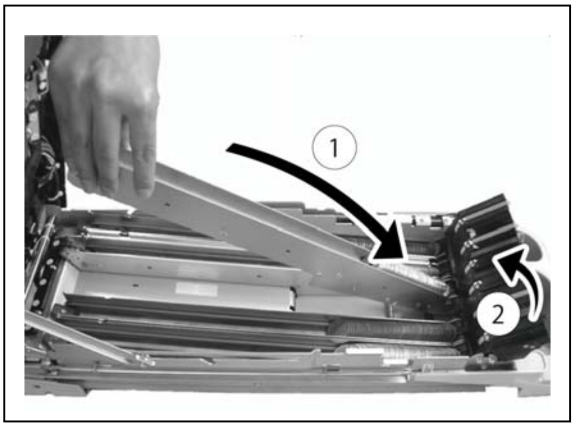
各集積ユニットと集積ベースにはどの金種の集積ユニットをはめ込めるかが判るように“金種別色シール”が貼ってあります。



集積ユニット



4）集積ユニットのセットと硬貨集積部の閉じ方



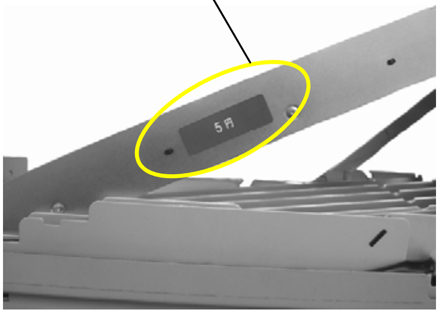
1. 集積ユニットの取り付け

① 金種シールに合わせて、集積ユニットをゲートブロック側から金種ごとに全ての集積ユニットをセットします。（金種を間違えると動作不良及び故障の原因となります。）

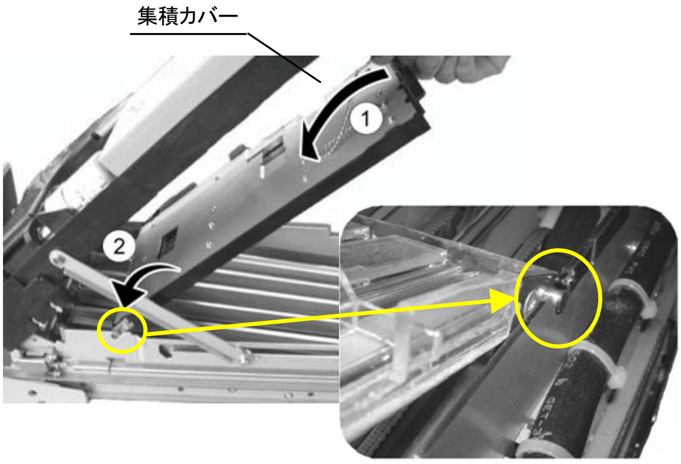
② ゲートブロックを矢印方向に戻します。

集積ベース金種シール

集積ユニット金種シール



Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.



2. 集積カバーの取り付け

① 搬送ベースを「A」(P12参照)のストッパー位置で止めてください。

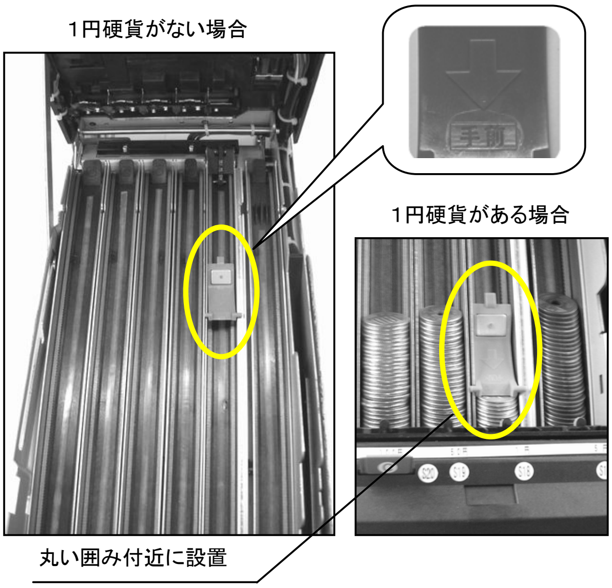
② 集積カバーを丸で囲んだ取り付け位置に合わせて取り付けて下さい。左右とも取り付け位置に確実に嵌っていることを確認して下さい。取り付けを間違えると動作不良及び故障の原因となります。

③ 搬送ベースのストッパーを外して集積カバー、搬送ベースを静かに閉じてください。

④ 内部ユニットを押込み、ユニット解除キーでロックしてください。

5)スタックプレートの設置

スタックプレートとは<u>1円硬貨専用押さえ部品</u>です。スタックプレートを正確に設置しないとエラー発生原因となりますので下記手順を参考に必ず設置して下さい。

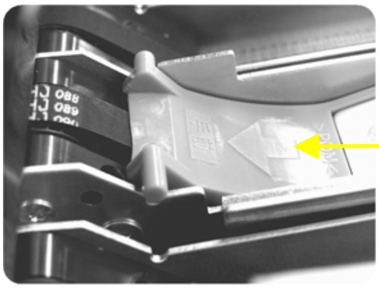


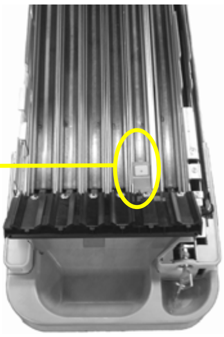
1. スタックプレートの取り付け方

- スタックプレートの設置は矢印方向(手前と書かれている方向)をゲートブロック側へ向けて設置して下さい。
- <u>1円硬貨がない場合</u>は搬送ユニットの<u>真ん中付近</u>。
- <u>1円硬貨がある場合</u>は1円硬貨の<u>最後尾に</u>設置してください。

⚠ 確 認

禁　止



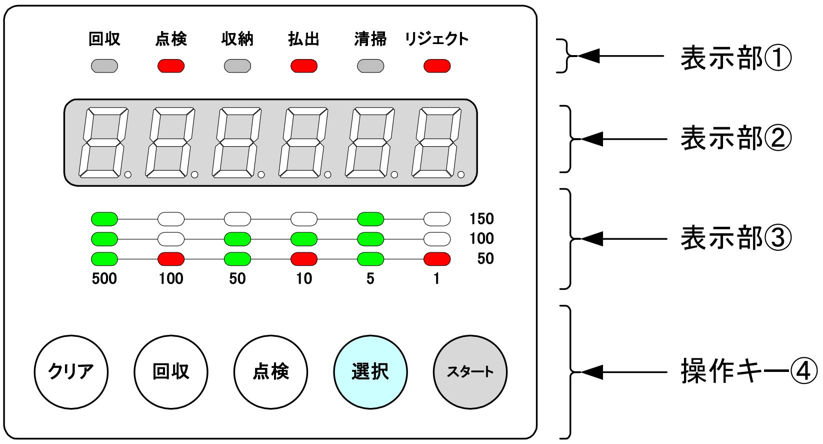


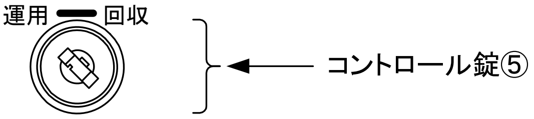
<u>ゲートブロックを開けた最前面に設置すると動作不良となります。</u>

Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

操作部について

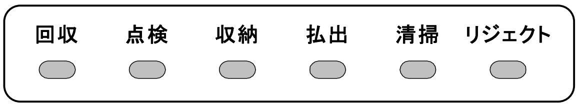
【操作表示パネル】





【各部の説明】

1. 表示部① →



操作モード及び機械の状態を表示します。

1）操作モード（回収LED、点検LED）

点検モード		回収モード選択		一括回収モード		一部回収モード	
回収	点検	回収	点検	回収	点検	回収	点検
消灯	点灯	点滅	消灯	点灯	消灯	点灯	点灯

2）状態（収納LED、払出LED、清掃LED、リジェクトLED）

○収納LED：

入金動作時にエラーが発生した場合に点灯します。一括回収モードで、全回収を行うことで消灯します。

○払出LED：

払出動作時にエラーが発生した場合に点灯します。一括回収モードで、全回収を行うことで消灯します。

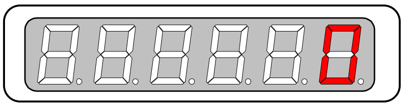
○清掃LED：

センサが汚れた場合、清掃LEDが点灯します。（センサの汚れを取れば消灯します）または、約5万枚硬貨を投入された場合も清掃LEDが点灯します。

○リジェクトＬＥＤ：

リジェクト硬貨があった場合に点灯します。リジェクト枚数がフル（７枚）になった場合には点滅し、入金動作が停止します。待機中に「クリア」キーを押下するとクリア（消灯）できます。

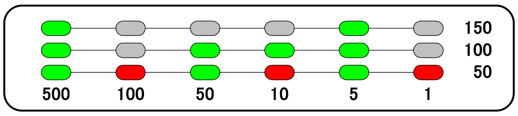
2. 表示部② →



つり銭金額や現在の在高（収納枚数）等の表示、および動作中であることを示す表示をします。また、エラーが発生した場合、エラーコードを表示します。

Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

3. 表示部③ →



下列の LED は、赤色と緑色で点灯します。中列と上列の LED は緑色で点灯します。

1)運用時は各収納部の状態を表示します。
(エンド＝0枚　ニアエンド＝つり銭の残量が少ない状態　ニアフル＝集積部がフルに近い状態　)

状態	エンド(0枚)	ニアエンド	ニアエンド～50枚	51枚～100枚	101枚～ニアフル	ニアフル	フル
表示方法	消灯 消灯 赤点滅	消灯 消灯 赤点灯	消灯 消灯 緑点灯	消灯 点灯 緑点灯	点灯 点灯 緑点灯	点滅 点灯 緑点灯	点滅 点滅 緑点滅

ニアエンド枚数（初期値）
5円 50円 500円： 5枚以下
1円 10円 100円：20枚以下

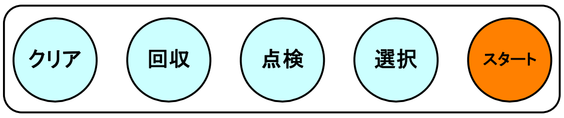
ニアフル枚数
500円 ：109枚～119枚
5円 ：109枚～119枚
その他：140枚～150枚

フル枚数
500円 ：120枚
5円 ：120枚
その他：151枚

2)在高点検時は、下列の LED で選択金種を緑色で表示します。

3)回収モードでは、回収選択されている金種を下列LED(緑色)で表示します。

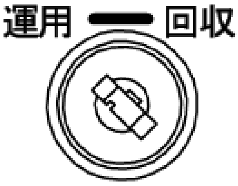
4. 操作キー④ →



	説明
スタート	アイドル時、入金の開始、中断に使用します。 回収動作時、回収動作の中断に使用します。 モード選択時、動作モードの決定に使用します。
選択	一括回収、一部回収モード時、金種の選択に使用します。 アイドル時、清掃LEDが点灯していた場合、点灯原因を確認する時に使用します。
点検	アイドル時、装置内の硬貨枚数を確認するのに使用します。 回収モード選択時、一部回収モードへの移行に使用します。
回収	回収モード選択時、一括回収モードへの移行に使用します。
クリア	エラー時、エラー復旧に使用します。 点検モード時、点検モードの終了に使用します。

5. コントロール錠⑤

運用と回収の切り換えに使用する鍵です。



鍵位置	説明	鍵抜き取り
運用	つり銭の払出、補充、在高点検が行えます。	可能
回収	一括回収、一部回収が行えます。	不可能

Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

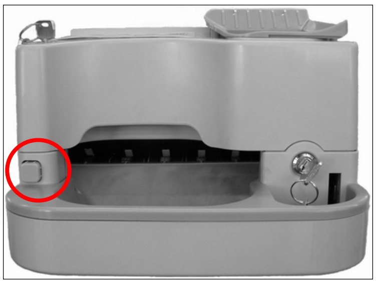
操作のしかた

1. 釣銭を準備する

> ⚠ **確 認**
>
> コントロール錠は『**運用**』の位置にしてください。

1）電源を入れます。

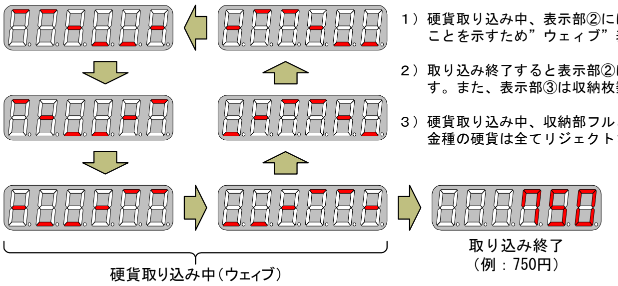
・自動的に初期動作が開始されます。動作が止まるまでお待ちください。



※ 表示が全点灯した後、表示部②に“__INIT” の表示を行い、初期動作を行います。初期動作が終了すると、表示部②は“___0”の表示になります。

2）釣銭準備金を投入します。

・自動的に硬貨が取り込まれます。（一度に 50 枚以上入れないで下さい）

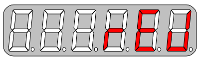


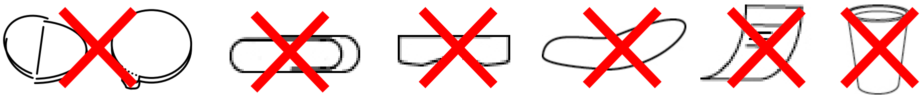
1）硬貨取り込み中、表示部②には動作中であることを示すため”ウェィブ”表示をします。

2）取り込み終了すると表示部②は入金金額の表示になります。また、表示部③は収納枚数に応じた表示を行います。

3）硬貨取り込み中、収納部フルとなった場合、フルとなった金種の硬貨は全てリジェクトされます。

※　自動的に硬貨が取り込まれないときは「**スタート**」キーを押して下さい。
※　取り込み中に「**スタート**」キーを押すと動作を停止します。
※　硬貨取込み中に硬貨がリジェクトされるとリジェクト LED が点灯します。リジェクト硬貨が7枚になると動作を停止し、リジェクト LED が点滅し表示部②に“___REJ”と表示されます。



> ⚠ **注 意**
>
> ○硬貨投入口に深く手を差し込まないで下さい。自動取込が動作を始め危険です。
> ○一度に50枚以上の硬貨を投入しないで下さい。
> ○日本国内流通硬貨専用機です。海外硬貨、記念硬貨及び特殊硬貨は使用しないで下さい。
> （特殊硬貨：古い5円硬貨（昭和24～28年製）や古い50円硬貨は直径が大きいモノがあります。）
> ○歪んだ硬貨・磨耗硬貨・変形硬貨・打痕・キズのある硬貨は使用しないで下さい。
> ○油や水で濡れた硬貨を投入しないで下さい。エラー発生の原因となります。
> ○絶対に異物を投入しないで下さい。故障の原因となります。（例：クリップ・輪ゴム・紙片・食物等）
>
> 

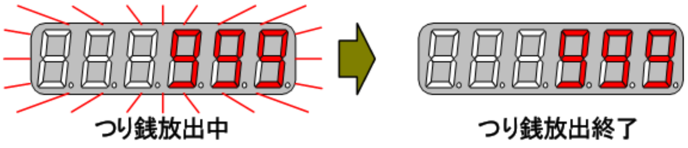
Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

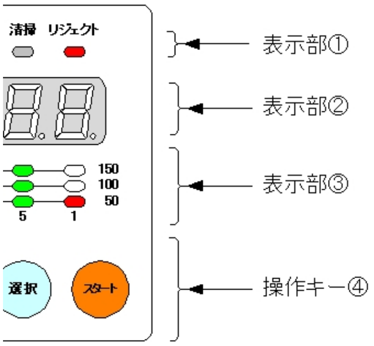
2. 釣銭の払出と投入

1）釣銭の払い出し

お客様より受け取った金額をレジ（上位機）に入力すると自動で釣銭が払い出されます。

<u>金額を確認して、お客様に渡してください。</u>



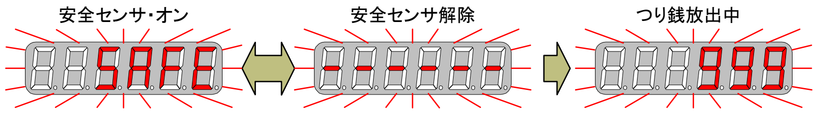


※ 釣銭の払い出し中は、「表示部②」に釣銭金額を点滅表示します。釣銭の払い出しが終了すると、払い出し終了音が鳴り、釣銭金額が点灯表示しますので、その後に硬貨を取り出してください。

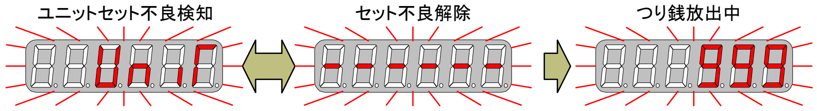
⚠ 注 意

つり銭払出中の注意点

① <u>釣銭払出し前や払出中に硬貨出金部に手を入れないで下さい。</u>
安全センサが手を検知し、"____SAFE"機能が働き表示部2にメッセージを点滅表示し、アラーム音を定期的に鳴らします。安全機能が解除されると、約1秒間"－－－－－－－"の表示を行った後、再度釣銭額を点滅表示し、残りの釣銭の払い出しを再開します。



② <u>釣銭払出中に内部ユニットを引出さないで下さい。</u>
内部ユニットのセット状態が不完全でユニットセット不良"____UNIT"が検知された場合には表示部②にメッセージを点滅表示し、アラーム音を定期的に鳴らします。内部ユニットを押し込み安全機能不良が解除されると、約1秒間"－－－－－－－"の表示を行った後、再度釣銭額を点滅表示し、残りの釣銭の払い出しを再開します。



2）受け取った硬貨の投入。

お客様より受け取った硬貨をCT-20に投入します。自動的に取り込まれ、後の釣銭として収納されます。

※硬貨が少数の場合は自動的に硬貨を取込まない場合があります。自動的に硬貨を取り込まないときは「**スタート**」キーを押してください。

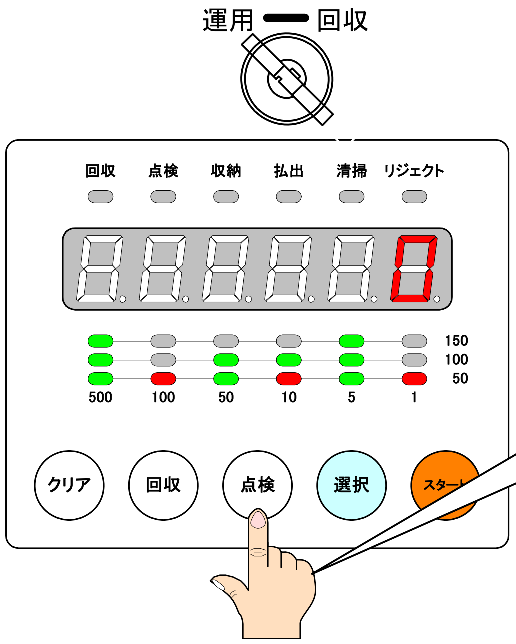
※収納硬貨がフル状態になった場合は硬貨の取り込みおよび収納が停止します。P25を参考にフル状態になっている収納硬貨の一部を回収して下さい。（「回収」キーを1回押すことで30枚（初期設定の場合）を回収できます。）

※フル状態が解消されると取り込み・収納を再開することができます。

Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

3. 装置内の硬貨枚数を確認する

運用中の装置内にある各硬貨の枚数を確認します。

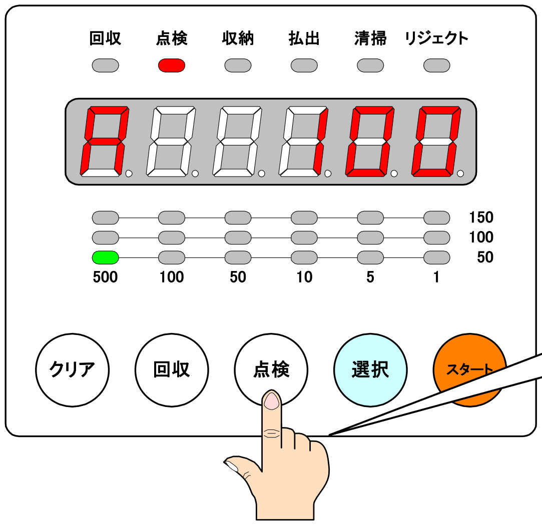


--- 操作手順 ---

①コントロール錠を「**運用**」の位置にして下さい。

②「**点検**」キーを押して下さい。

③表示部1・3を見て、金種別の収納枚数を確認します。



④「**点検**」キーを押すごとに、下記の順番に表示内容が切り替わります。

元の状態 → 500円 → 100円
↑ ↓
1円 ← 5円 ← 10円 ←50円

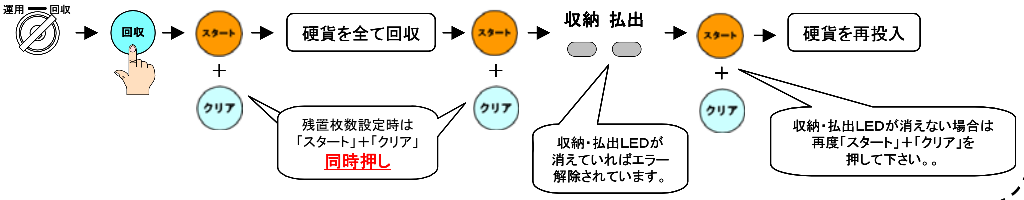
⑤「**クリア**」キーを押すと、通常の運用状態にもどります。

⚠確 認

【 収納・払出LEDについて 】

エラー発生などにより、在高データ（装置が記憶している収納枚数）が不確実な場合は、表示部2の収納、払出LEDが点灯します。締め上げ時など、硬貨枚数の確認が必要なとき、この収納、払出LEDが点灯しているときは、全ての硬貨を一括回収（P21を参照）して、必ず収納、払出LEDの消灯を確認してください。その後、回収した硬貨を再度投入して、硬貨枚数を確認してください。

【一括回収方法】

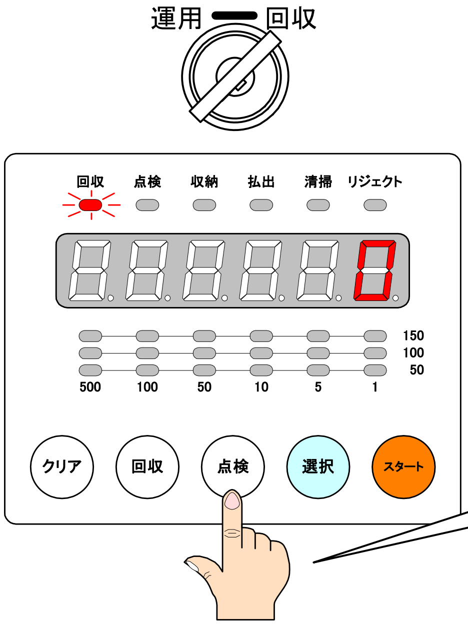


Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

4. 装置内の硬貨を回収する

指定金種を10枚単位で回収する『**一部回収**』と、全金種を全て回収する『**一括回収**』、指定した金額を残して残り分を回収する『**枚数残置回収**』、『**金額残置回収**』の4種類の方法があります。また、各回収方法はソフトスイッチにて変更することができます。

1）一部回収 （指定金種を10枚単位で回収します。）

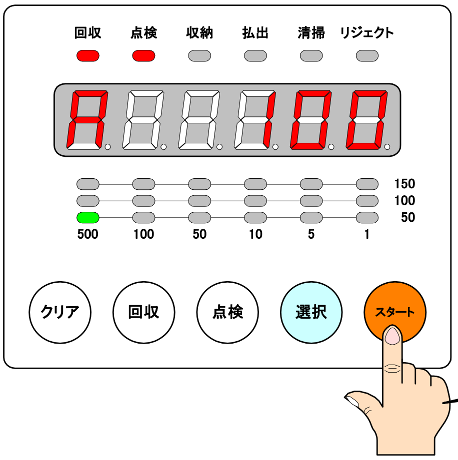


--- **操作手順** ---

①コントロール錠を「**回収**」の位置にして下さい。

②「**点検**」キーを押すことで「**一部回収モード**」へ移行します。
（回収LED、点検LEDが点灯します。）

③表示部2・3を見て、一部回収の操作を行います。



④「**スタート**」キーを押すと選択金種が「**10枚**」回収されます。
（在高が10枚未満の場合は、在高枚数だけ回収されます。）

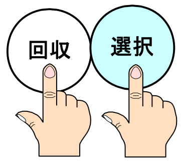
「**回収**」キーを押すごとに表示部2の内容が切り替わります。

（在高枚数 ⇔ 回収済み枚数）

在高枚数表示　　回収済み枚数表示

「**選択**」キーを押すごとに、下記の順番に選択金種が切り替わります。

500円 → 100円 →50円
↑　　　　　　　　↓
1円 ← 5円 ← 10円



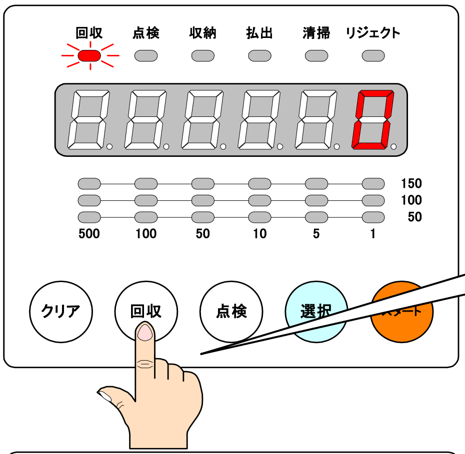
※一部回収の注意点

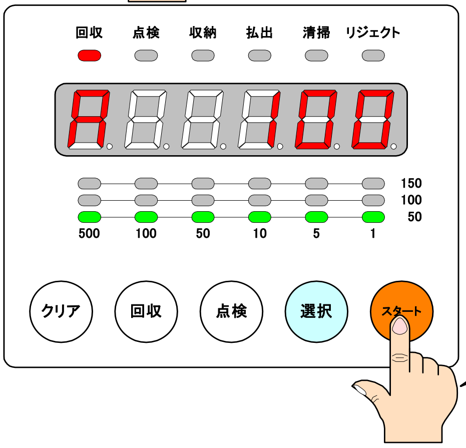
① 回収動作終了後、在高枚数表示を行います。

② 回収動作中、「**スタート**」キーを押すと強制終了します。

Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

2）一括回収 （全ての硬貨を回収します。）





--- 操作手順 ---

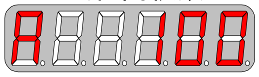
①コントロール錠を「**回収**」の位置にして下さい。

②「**回収**」キーを押すことで「**一括回収モード**」へ移行します。
（回収LED、点検LEDが消灯します。）

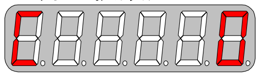
③表示2・3を見て、一括回収操作を行います。

④「**スタート**」キーを押すと選択金種が「**50枚**」ごとに回収されます。
「**全金種**」選択時は、「**全ての硬貨**」が回収されます。

「**回収**」キーを押すごとに表示部2の内容が切り替わります。
（在高枚数 ⇔ 回収済み枚数）



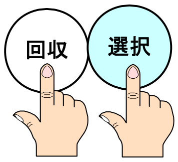
在高枚数表示



回収済み枚数表示

「**選択**」キーを押すごとに下記の順番に選択金種が切り替わります。

全金種 → 500円 → 100円
↑ ↓
1円 ← 5円 ← 10円 ←50円

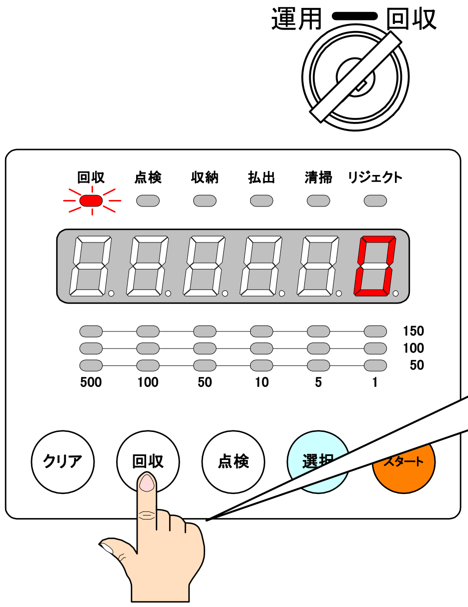


※一括回収の注意点
① 回収動作終了後、在高枚数表示を行います。
② 回収動作中、「**スタート**」キーを押すと強制終了します。
③ 全ての硬貨が完全回収された場合、収納・払出LEDが消灯します。
④ 一度でも回収を行った金種は中列のLEDが点滅します。
⑤ 回収した枚数が「0枚」の場合、完全回収とみなし、中列のLEDが点灯します。
⑥ 在高枚数が有るにもかかわらす、回収した枚数が“0枚”の場合、在高枚数が強制クリアされ、上列のLED全てが点滅表示されます。

Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

3）枚数残置回収（指定枚数の硬貨を残して回収します。）

ソフトスイッチの設定が「**枚数残置回収**」設定になっていると、通常の一括回収は動作しません。（枚数残置回収設定を行うにはサービスマンか販売会社へお問い合わせ下さい。）

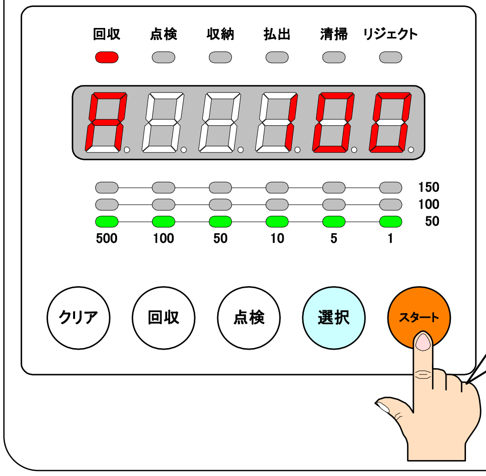


--- 操作手順 ---

①コントロール錠を「**回収**」の位置にして下さい。

②「**回収**」キーを押すことで「**枚数残置回収モード**」（ソフトスイッチが設定されている場合のみ）へ移行します。（回収LED、点検LEDが消灯します。）

③枚数残置回収モードに入ると、「**全金種選択**」状態になります。（金種を選択して回収する場合は、下記手順の「**選択**」キーを押して金種選択を行って下さい。）



④「**スタート**」を押すと指定枚数を残し、余分硬貨が回収されます。（全金種選択時）

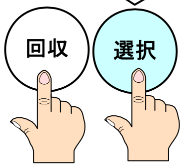
・余分硬貨が無い場合は、「ピピピ」とブザーが鳴り回収動作を行いません。
・収納、払出LEDが点灯している場合、ブザーが鳴り回収動作を行いません。
（一括回収操作を行って、全ての硬貨を回収してください。P34）

「**回収**」キーを押すごとに表示部2の内容が切り替わります。
（在高枚数 ⇔ 回収済み枚数）

在高枚数表示　　回収済み枚数表示

「**選択**」キーを押すごとに下記の順番に選択金種が切り替わります。

全金種 → **500円** → **100円** ↓ **50円** → **10円** → **5円** → **1円** ↑ **全金種**



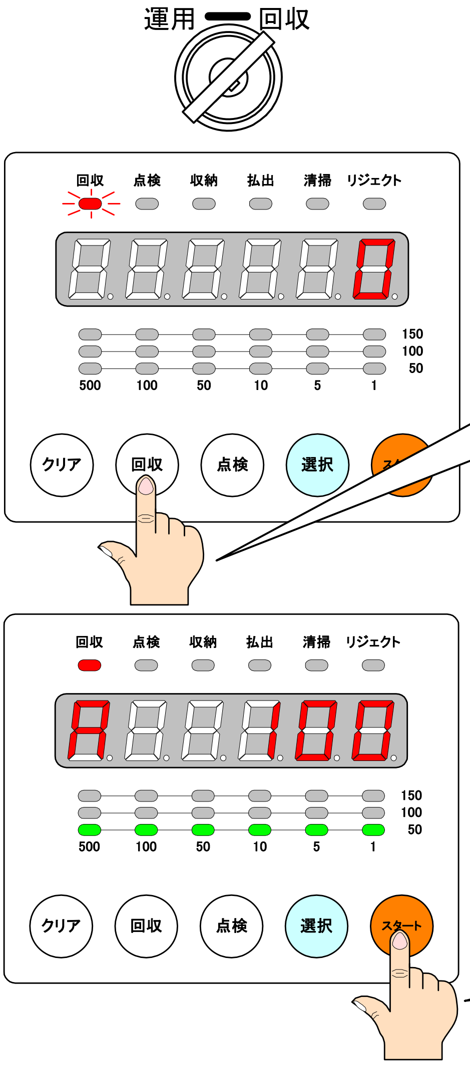
※ クリア ＋ スタート を押すことで、一括回収動作を行うことができます。

※枚数残置回収の注意点
① 回収動作終了後、在高枚数表示を行います。
② 回収動作中、「**スタート**」キーを押すと強制終了します。
③ 全ての硬貨が完全回収された場合、収納、払出LEDが消灯します。

Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

4）金額残置回収（指定金額の硬貨を残して回収します。）

ソフトスイッチの設定が「**金額残置回収**」設定になっていると、通常の一括回収は動作しません。（金額残置回収設定を行うにはサービスマンか販売会社へお問い合わせ下さい。）



--- 操作手順 ---

①コントロール錠を「**回収**」の位置にして下さい。

②「**回収**」キーを押すことで「**金額残置回収モード**」（ソフトスイッチが設定されている場合のみ）へ移行します。
（回収LED、点検LEDが消灯します。）

③金額残置回収モードに入ると、「**全金種選択**」状態になります。

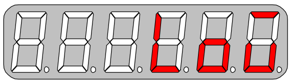
④「**スタート**」を押すと指定枚数を残し、余分硬貨が回収されます。（通常＝全金種選択）

・回収終了後、再度「**スタート**」を押してください。“_SAME”と表示されれば金額残置完了です。
・収納・払出 LED が点灯している場合、ブザーが鳴り回収動作を行いません。
（一括回収操作を行って、全ての硬貨を回収してください。P34）

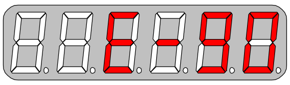
※ クリア ＋ スタート を押すことで、一括回収動作を行うことができます。

※枚数残置回収の注意点

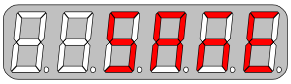
在高が指定金額未満の場合、又は枚数計算が行えなかった場合“_LOW”と表示され回収動作を行いません。在高を増やして下さい。



残置優先順位設定が重複している場合、“_E－90”と表示されエラーとなります。設定の確認を行って下さい。



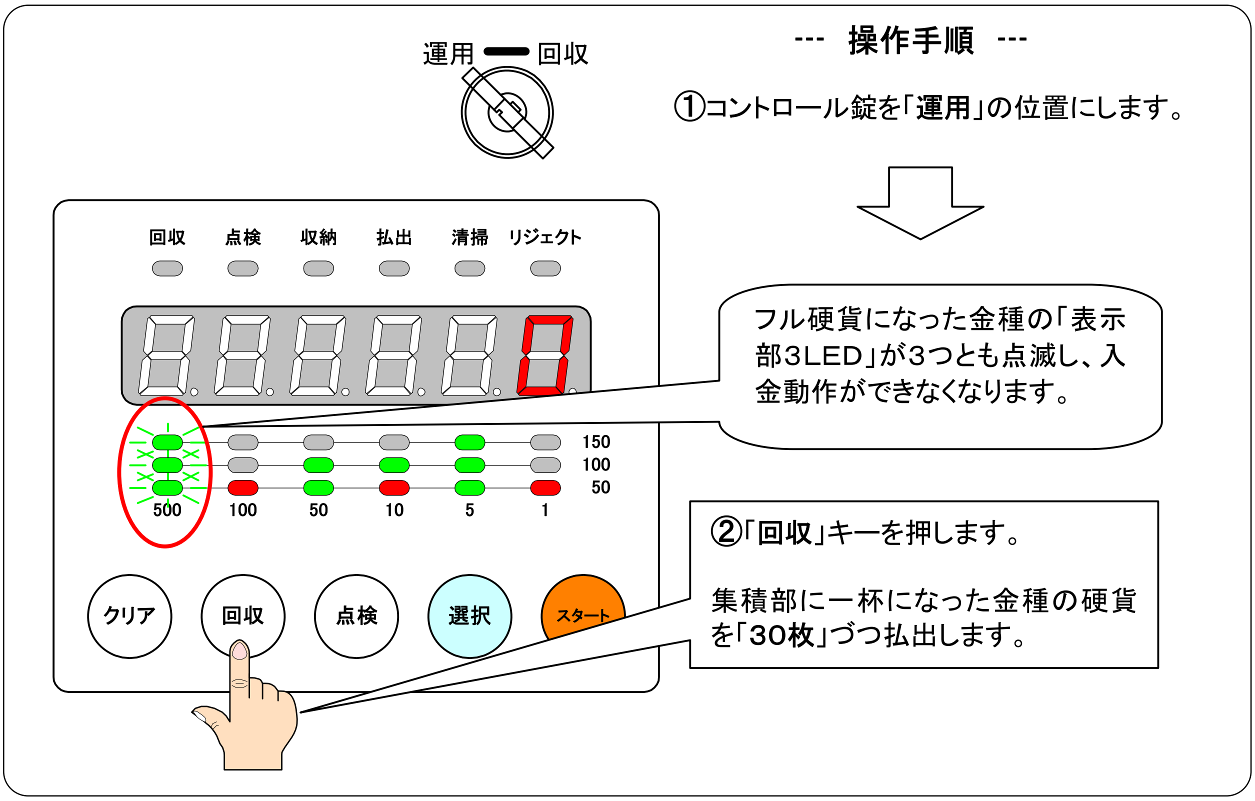
在高が指定金額と同じ場合“_SAME”と表示され回収動作を行いません。



Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

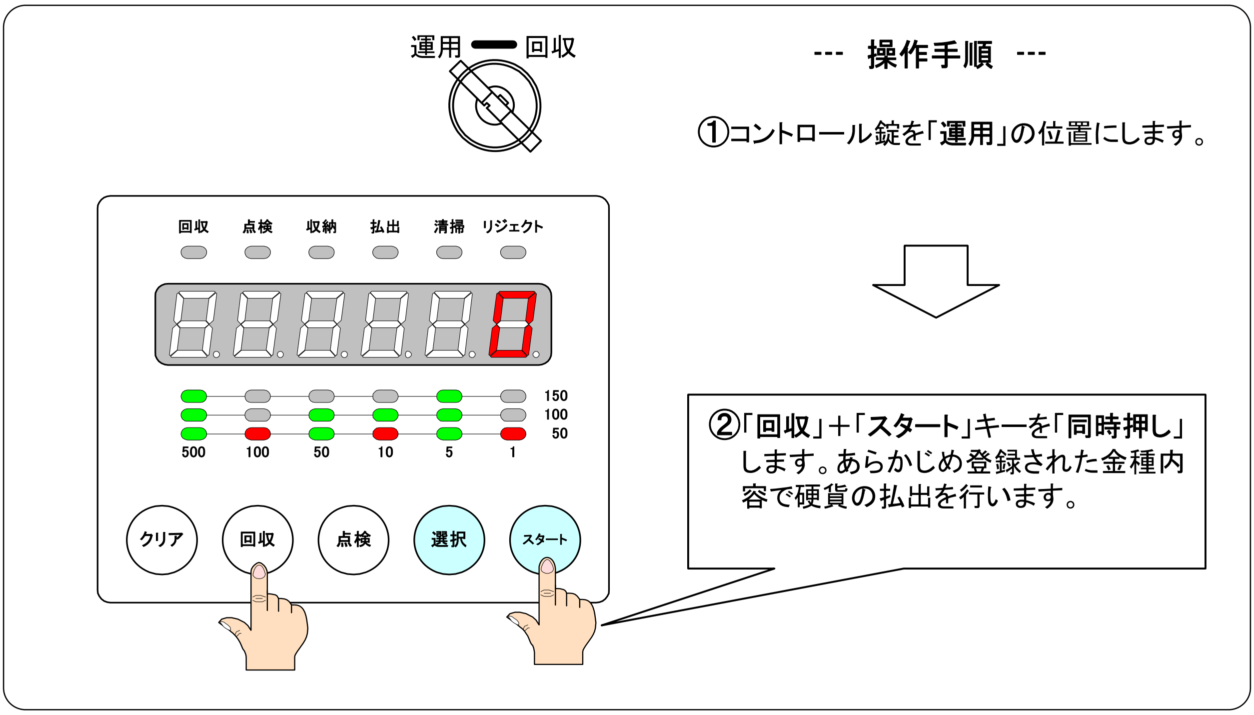
5）フル硬貨を回収する。

収納硬貨がフルになった金種が有ると、硬貨の入金動作が行えなくなりますので、集積ユニットのフルになった硬貨を減らす必要があります。フル硬貨回収機能（SSW43）が有効の場合、一部回収操作を行うことなく簡単にフル硬貨を回収することができます。（フル状態で無い場合は、回収動作は行いません。）



6）マニュアルで硬貨を払い出す。

マニュアル払出機能が有効な場合、設定されている内容で硬貨の払出を行うことができます。（設定するにはサービスマンかお買い上げ頂いた販売会社へお問い合わせ下さい。）



Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

エラーが発生したら

⚠注 意

エラーが発生しても電源は切らないで下さい。
下記の手順通りに解除が行われないとエラー解除はできません。

運用状況や運用方法によりエラーが発生することがあります。また、エラーが発生しても簡単に解決可能ですので、手順に沿ってエラーを解除してください。

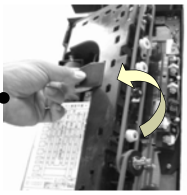
【エラー解決の手順】

エラー発生

① 内部ユニット「B」を引き出してください。(P11)

内部ユニット引出

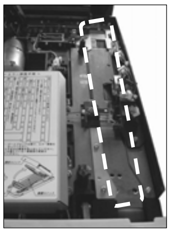
② 搬送アッパー「A」を開けてください。(P11)



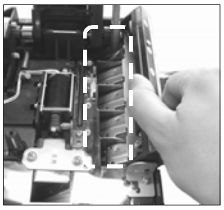
搬送アッパー持上げ

③ ロック硬貨・異物が無いか確認して下さい。(P30～エラー該当箇所参照)
<u>確定硬貨は集積ユニットへ。 未確定硬貨は、再投入してください。</u>(P28)

③－1 搬送ライン・硬貨選別部の詰まった硬貨やゴミ等を取り除いて下さい。

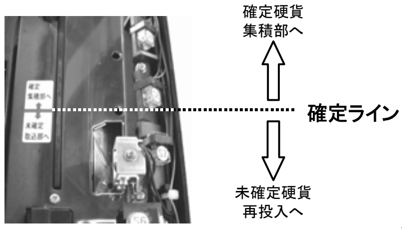


搬送ライン



硬貨選別部

③－2 搬送アッパーを開けて、確定ラインを越えた硬貨は集積部へ、越えてない硬貨は再投入して下さい。

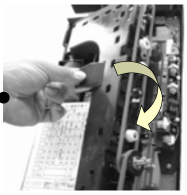


再投入

硬貨集積部

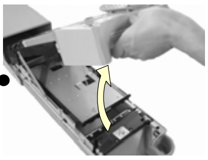
※確定硬貨とは
機械が読取りを完了した硬貨です。右図の集積部へ硬貨ごとに並べて入れて下さい。
未確定硬貨は読取り前の硬貨ですので投入口から再投入して下さい。

④ 搬送アッパー 「A」を確実に閉めてください。



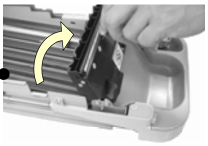
搬送アッパー閉め

⑤ 搬送ベース「B」を開けてください。(P12)



搬送ベース持上げ

⑥ ゲートブロック「C」を開けて下さい。(P13)



ゲートブロック開

⑦ ロック硬貨・異物が無いか確認して下さい。(P30～エラー該当箇所参照)
<u>選別・集積不良の硬貨を正しい集積ユニットにセットしてください。</u>

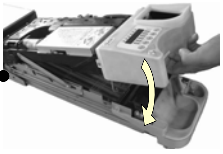
⑦ ロック硬貨や異物・ゴミ等があれば取り除いて下さい。
また、乱れた硬貨はきれいに並べてください。

乱れた硬貨

硬貨をきれいに並べて下さい。

※選別・集積不良とは
機械が硬貨を硬貨集積部へ正しく選別や集積ができなかったエラーです。硬貨を正しい位置へ戻しP30を参考にきれいに並べなおしてください。

⑧ 搬送ベース「B」・ゲートブロック「C」を確実に閉めて下さい。



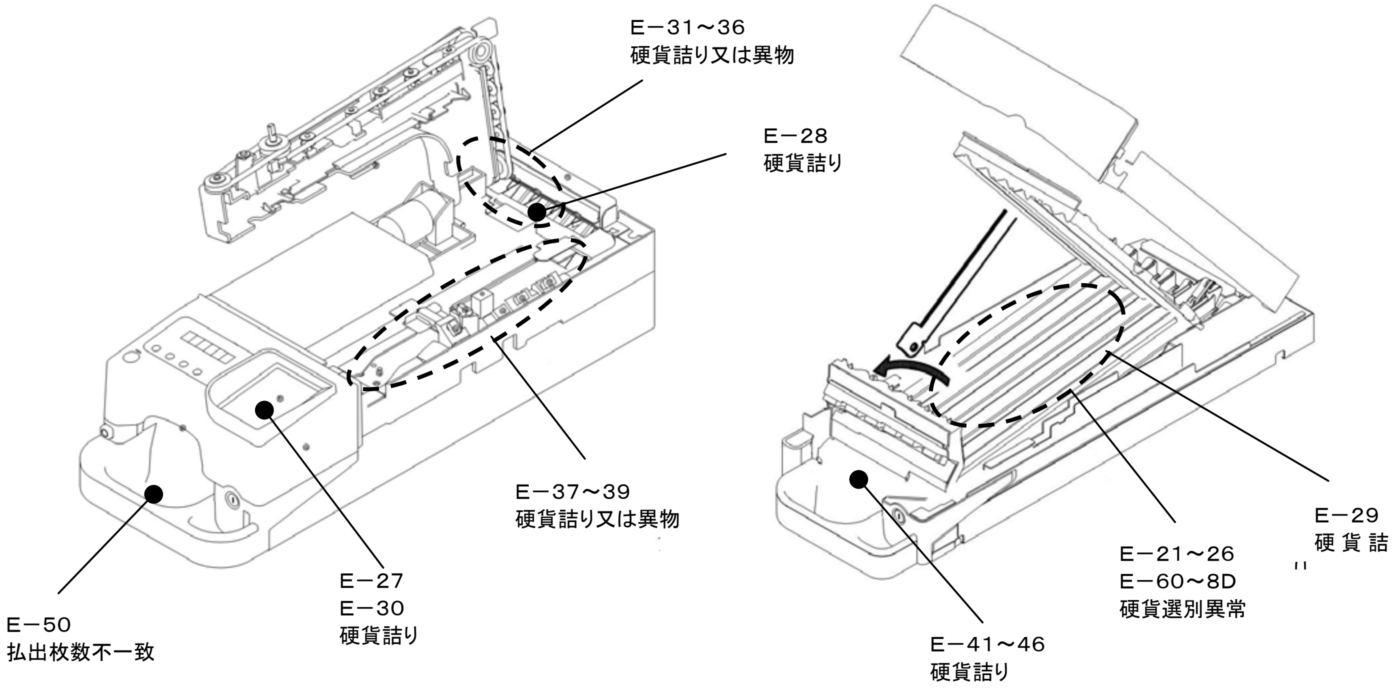
搬送ベース閉め

⑨ 内部ユニットをセットし、「**クリア**」ボタンを押してエラー解除終了です。
(「クリア」ボタンを押して初期動作が開始されるとエラー解除完了です。)

Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

1）エラー箇所の目安

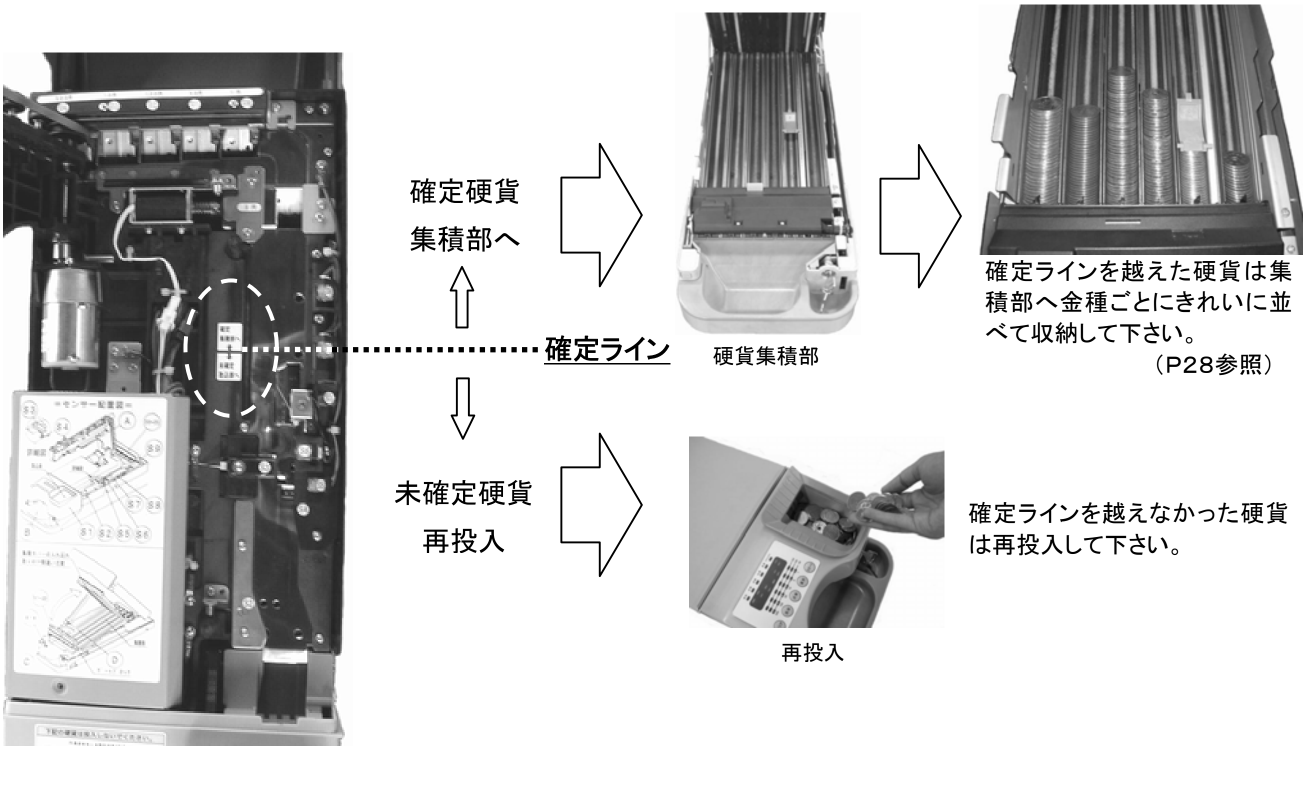
下記図からエラー箇所の目安をつけ、エラー発生箇所を重点的に異物・汚れ・ロック硬貨を取除いて下さい。（但し、全てのエラーは前項の手順を行わないと解除できません。）



2）エラー発生時の硬貨の取扱い方

⚠ 注 意
硬貨が詰まった箇所により、硬貨の対処方法が異なります。

- ●エラーが発生した場合、硬貨の位置により硬貨を再投入する場合と集積部へ収納する場合があります。
- ●丸で囲まれたシールの確定ラインに硬貨がかかった時点で確定と判断されますので、確定ライン上の硬貨は確定とみなし、集積部へ収納して下さい。



Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

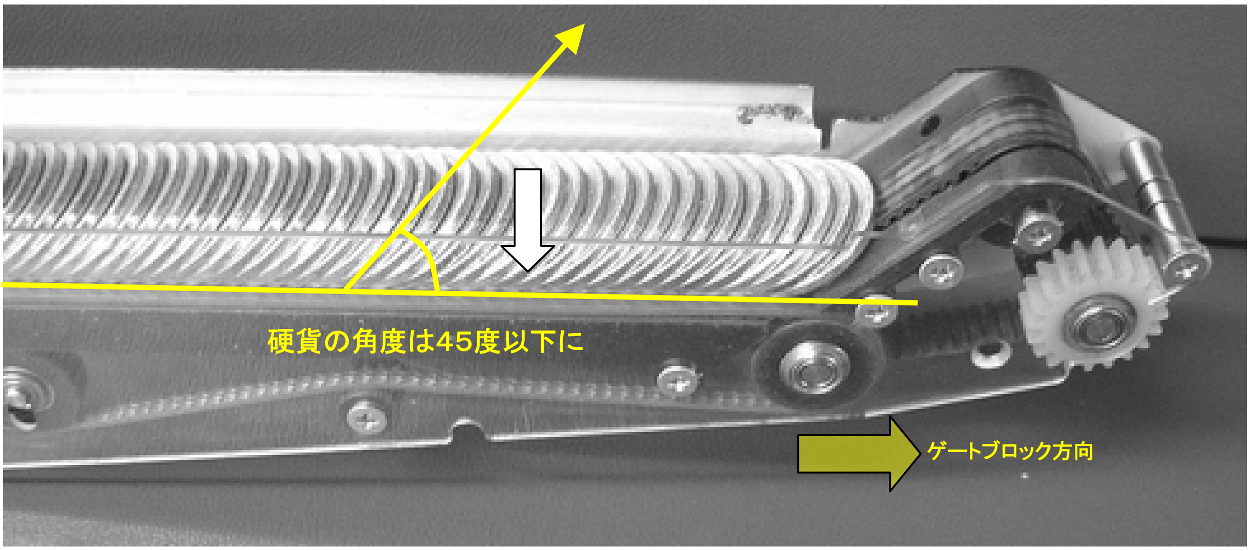
3）集積部での硬貨の並べ方

— 参考 —

集積部でエラーが発生した場合に、硬貨ユニットへ硬貨を正常位置に並べる必要があります。
下記に硬貨の並べ方の良い例と悪い例を提示します。

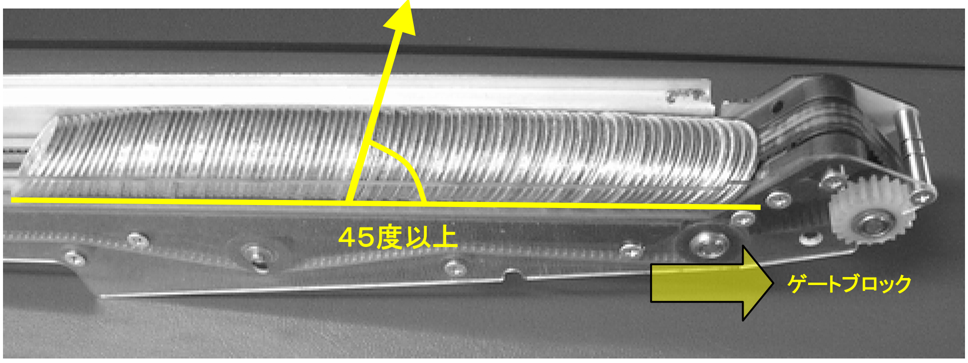
— 良い例 —

目安の角度が45度以下で順序良く並べてあります。



— 悪い例 —

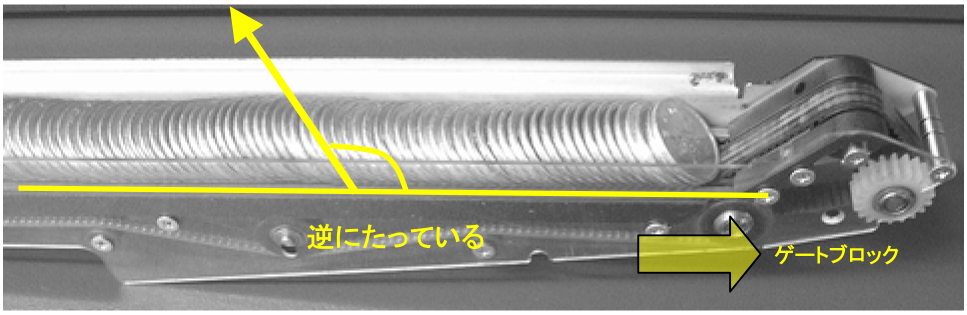
目安の角度が45度以上で硬貨が立っています。



禁　止

— 悪い例 —

硬貨が逆に立っています。

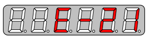
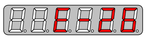
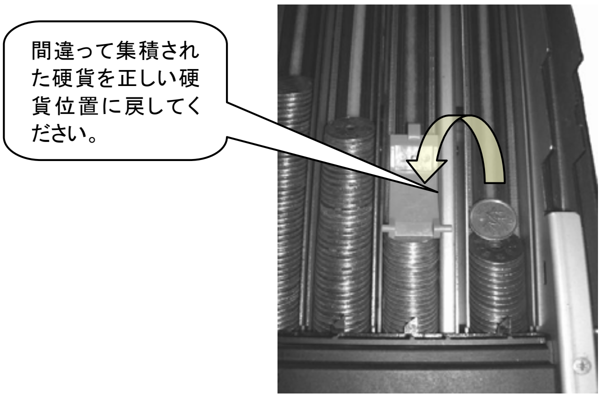
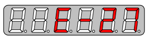
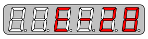
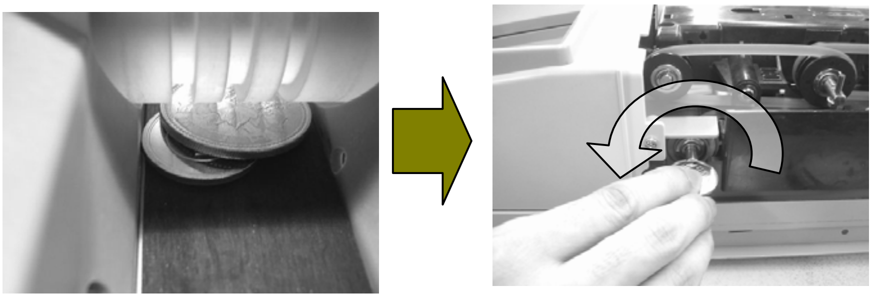
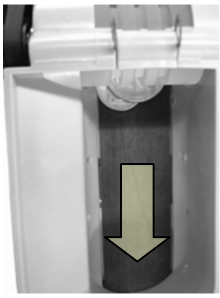


禁　止

Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

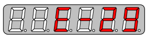
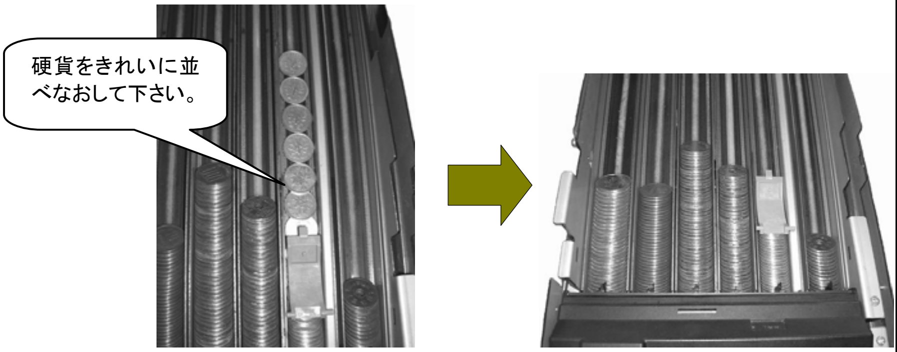
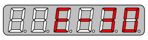
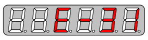
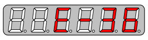
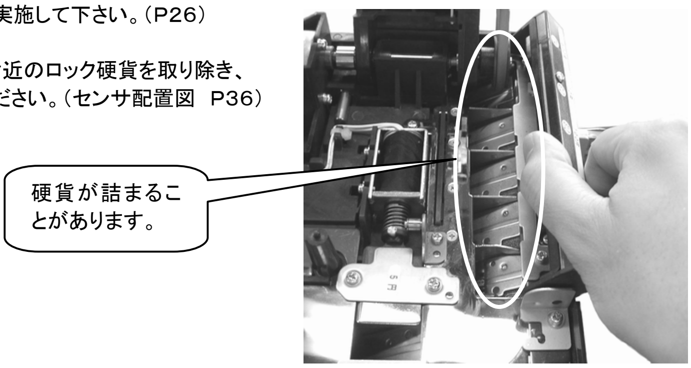
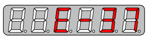
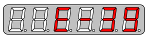
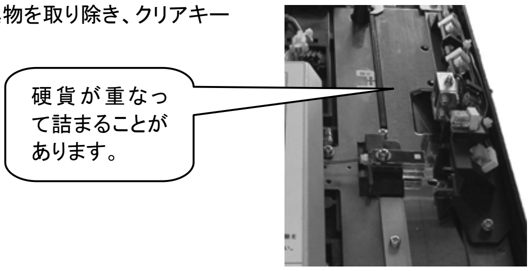
1. エラー解除方法

1)E－21～E－28

エラーコード	内　　容	エラー解除方法
E－21 ～ E－26 【表示部②】  ～ 	選別異常：　1円硬貨 5円硬貨 10円硬貨 50円硬貨 100円硬貨 500円硬貨 入金された硬貨が正常に選別されませんでした	※エラー解決手順を実施して下さい。(P26) － 注意点 － 硬貨集積部に間違って落ちた硬貨を正しい硬貨集積部にセットし直してください。 
E－27 ～ E－28 【表示部②】  ～ 	投入モーター過負荷検知 搬送モーター過負荷検知 モーターの過負荷を検知しました。	※エラー解決手順を実施して下さい。(P26) － 注意点 － 投入部に詰まった硬貨が無いか確認して下さい。詰まった硬貨が見える場合は下記手順で除去してください。 ⚠ 注 意 危険ですので、投入口に指を入れないで下さい。 硬貨投入口で詰まった場合  ユニットを引出し、硬貨で右横にあるシャフトを回して詰まった硬貨を取ります。  矢印の方向に硬貨の詰りが取れたら「クリア」キーを押して再度取込開始させて下さい。

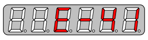
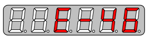
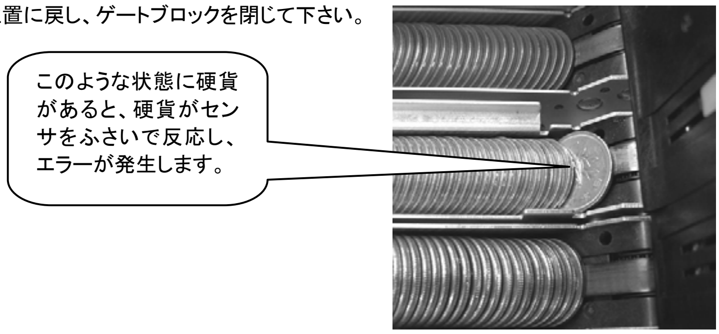
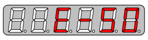
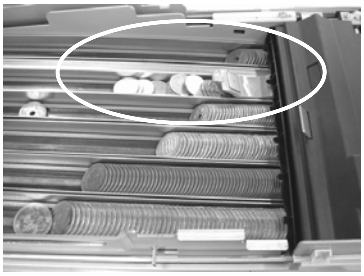
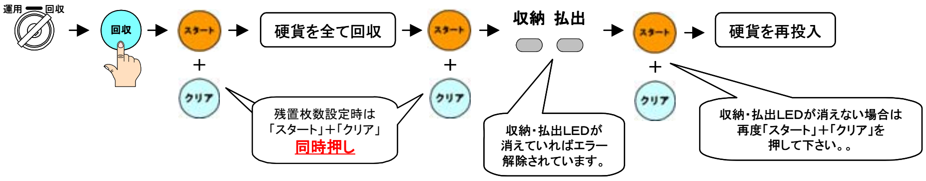
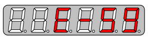
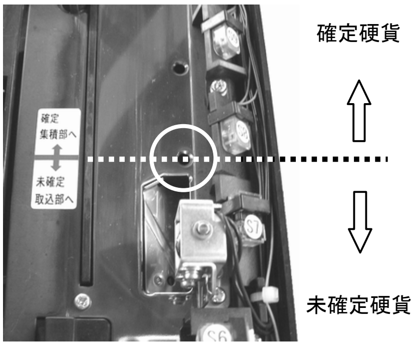
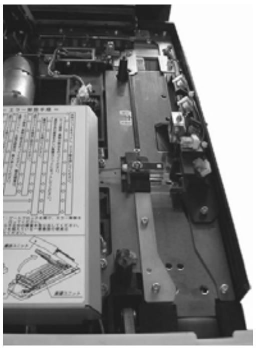
Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

2)E－29～E－39

エラーコード	内　　容	エラー解除方法
E－29 【表示部②】 	払出モーター過負荷検知	※エラー解決手順を実施して下さい。(P26) － 注意点 － 硬貨集積部できれいに並んでいない硬貨を並べ直してください。 
E－30 【表示部②】 	硬貨ロック：取込センサ	※エラー解決手順を実施して下さい。(P26) － 注意点 － S2センサ周辺で詰まった硬貨を取り除いて下さい。(センサ配置図　P36) 取込口付近で詰まった場合
E-31 ～ E－36 【表示部②】  ～ 	硬貨ロック： 1円通過センサ 5円通過センサ 10円通過センサ 50円通過センサ 100円通過センサ 500円通過センサ	※エラー解決手順を実施して下さい。(P26) － 注意点 － S10～S14センサ付近のロック硬貨を取り除き、クリアキーを押してください。(センサ配置図　P36) 
E－37 ～ E－39 【表示部②】  ～ 	リジェクト通過センサ 判別硬貨通過センサ 電源投入時、または硬貨投入時、硬貨判別センサ部で硬貨又は異物を検知しました。	※エラー解決手順を実施して下さい。(P26) － 注意点 － 硬貨判別センサ部(S8)周辺の硬貨・異物を取り除き、クリアキーを押してください。(センサ配置図　P36) 

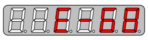
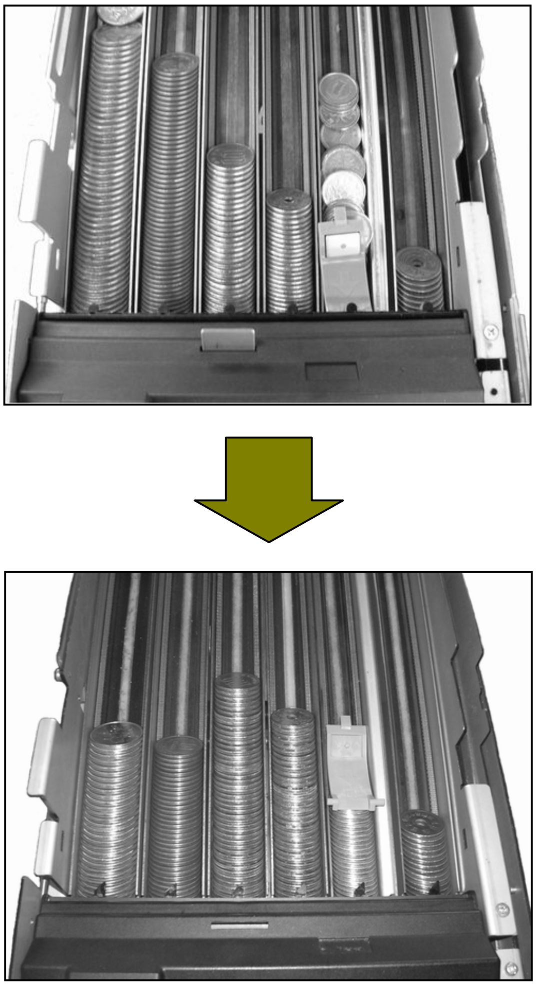
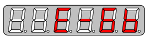
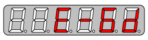
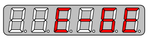
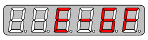
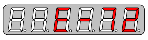
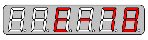
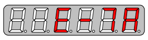
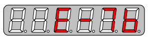
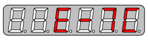
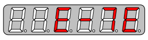
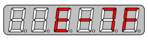
Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

3)E－41～E－59

エラーコード	内　　容	エラー解除方法
E－41 ～ E－46 【表示部②】  ～ 	硬貨ロック： 1円払出センサ 5円払出センサ 10円払出センサ 50円払出センサ 100円払出センサ 500円払出センサ	※エラー解決手順を実施して下さい。(P26) － 注意点 － ① ゲートブロック下に図のような硬貨が無いか確認して下さい。 ① 硬貨を正常位置に戻し、ゲートブロックを閉じて下さい。 
E－50 【表示部②】 	払い出し枚数不一致	※エラー解決手順を実施して下さい。(P26) － 注意点 － ① ゲートブロック下に図のような硬貨が無いか確認して下さい。 ② 硬貨を正常位置に戻し、ゲートブロックを閉じて下さい。 ③ 払出枚数を確認し、正規の金額を渡してください。  **－ 払出枚数不一致の解決手順 －** このエラーが発生した時は在り高の不一致が発生します。 下記手順に沿って在り高を正常に戻してください。 
E－59 【表示部②】 	判別硬貨通過センサがリジェクト硬貨を検知した。	※エラー解決手順を実施して下さい。(P26) － 注意点 － ② 搬送路上に硬貨が無いか確認して下さい。 ③ 最後に判別硬貨通過センサを通過した硬貨は、リジェクトされるべき硬貨なので取り除いてクリアキーを押下して下さい。取り除いた硬貨は再度投入口へ入れてください。  搬送路 

Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

4)E－60～E－7F

エラーコード	内　　容	エラー解除方法
E-60 	5円通過センサが金種データの無い硬貨を検知	選別異常が発生しています。エラー解決手順を実施して下さい。(P26)
E-68 	1円通過センサが金種データの無い硬貨を検知	エラー解決手順を実施して下さい。(P26)
E-6A 	1円硬貨センサが5円硬貨を検知	エラー解決手順を実施して下さい。(P26) 硬貨判別部に異物が無いか確認して下さい。 また、センサの清掃を行ってください。 集積不良が発生した場合、下記のようにきれいに硬貨を並べ直して下さい。 
E-6B ～ E-6F    	1円集積部に落下： 10円硬貨 50円硬貨 100円硬貨 旧500円硬貨 新500円硬貨	
E-70 ～ E-72 	50円通過センサ： 金種データの無い硬貨を検知 1円硬貨を検知 5円硬貨を検知	
E-73 ～ E-77 	50円集積部に落下： 10円硬貨 100円硬貨 旧500円硬貨 新500円硬貨	
E-78 ～ E-79  	100円通過センサ： 金種データの無い硬貨を検知 1円硬貨を検知	
E-7A 	100円通過センサが5円硬貨を検知	
E-7B 	10円硬貨が100円集積部に落下	
E-7C 	100円通過センサが50円硬貨を検知	
E-7E ～ E-7F 【表示部②】  ～ 	100円集積部に落下： 旧500円硬貨 新500円硬貨	

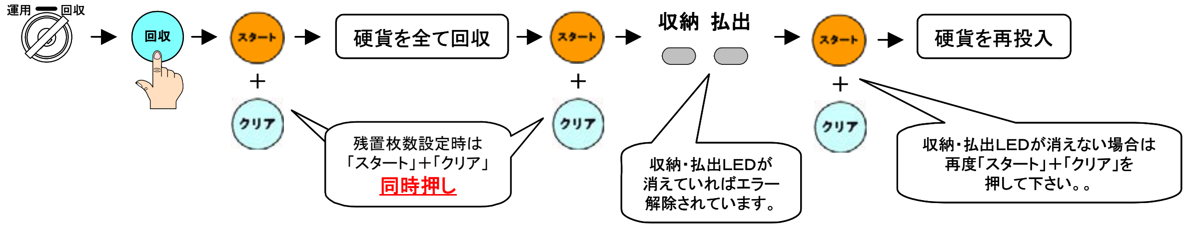
Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

5)E－80～E－95

エラーコード	内　　容	エラー解除方法
E-80 ～ E-85	10円硬貨センサ: 金種データの無い硬貨を検知 1円硬貨を検知 5円硬貨を検知 50円硬貨を検知 100円硬貨を検知	エラー解決手順を実施して下さい。(P26) 硬貨判別部に異物が無いか確認して下さい。 また、センサの清掃を行ってください。
E-86 ～ E-87	10円集積部に作家: 旧500円硬貨 新500円硬貨	
E-88 ～ E-8D	500円通過センサ: 金種データの無い硬貨を検知 1円硬貨を検知 5円硬貨を検知 10円硬貨を検知 50円硬貨を検知 100円硬貨を検知	
E-90	金額残置改修モード時、優先順位の設定が重複	優先順位の設定を正しく行って下さい。
E-92	イニシャル動作前、計数動作前の自動補正処理で補正が正常に終了しなかった	エラー解決手順を実施して下さい。(P26) 硬貨選別部に異物がないか確認して下さい。
E-93	硬貨センサ以後で硬貨及び異物を検知	エラー解決手順を実施して下さい。(P26) 硬貨判別部周辺に硬貨又は異物が無いか確認して下さい。
E-94	判別硬貨通貨センサ以後で硬貨及び異物を検知	エラー解決手順を実施して下さい。(P26) 硬貨判別部周辺に硬貨又は異物が無いか確認して下さい。
E-95	5円硬貨通貨センサ以後で硬貨及び異物を検知	エラー解決手順を実施して下さい。(P26) 硬貨判別部周辺に硬貨又は異物が無いか確認して下さい。

6)エラーが発生して払出・収納LEDが消えない時は

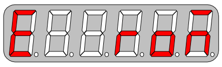
下記手順を実施して下さい。一括回収を実施したにもかかわらず在高がある場合には、再度その金種の回収を実施することで強制在高クリアを行うことができます。この場合(一度回収を行った金種を再度回収した場合)、回収作業中は「表示部③中列LED」が点滅します。そして回収する硬貨が無かった(カウント“0”)場合には「表示部③中列LED」は点灯になります。また、このように強制在高クリア行った場合には「全金種の表示部③上列 LED」が点滅します。



Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

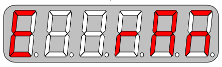
2. 各種メッセージ表示「表示部②」

ROMエラー表示



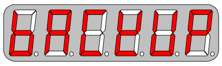
電源投入時、ＲＯＭのチェックサム・エラーを検知した時に表示されます。
対応：販売店またはサービスへ連絡して下さい。

RAMエラー表示



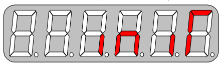
電源投入時、ＲＡＭ異常を検知した時に表示されます。
対応：販売店またはサービスへ連絡して下さい。

バックアップエラー表示



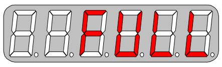
バックアップＲＡＭ異常時に表示されます。
対応：販売店またはサービスへ連絡して下さい。

イニシャル動作中表示



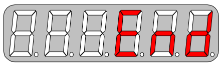
イニシャル動作時、エラー解除動作時に表示されます。

フル表示



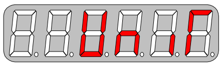
収納枚数がフルに達している金種があった場合、つり銭補充動作を行う時に表示されます。

エンド表示



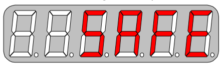
出金コマンド受信時、受信した金額が払い出せない場合に表示されます。

ユニットセット不良表示



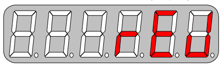
ユニットがセット不良になった場合に表示されます。

安全センサ検知表示



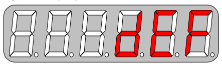
払出動作時、安全センサが検知した場合に表示されます。

リジェクトセンサ硬貨フル



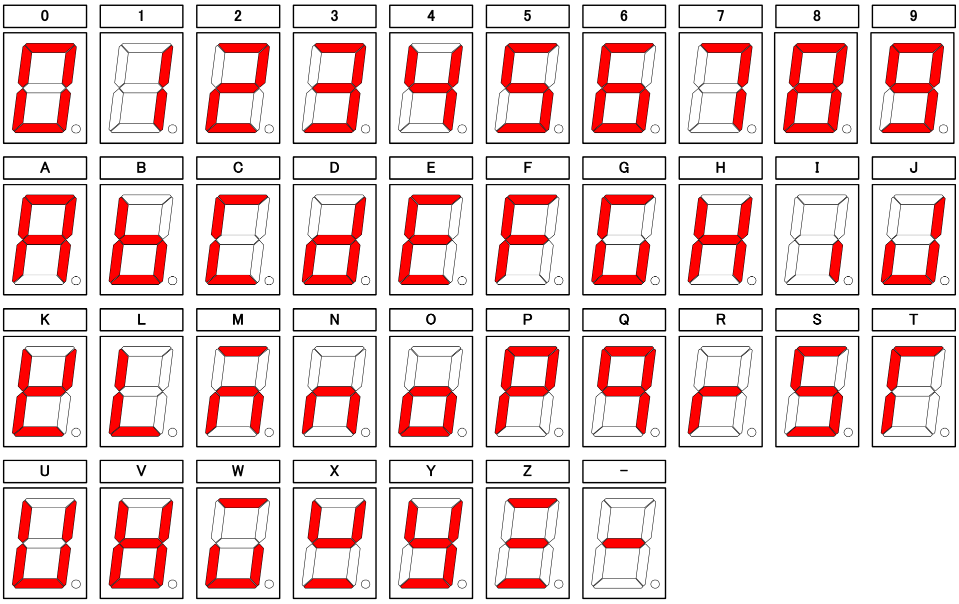
つり銭の補充動作時にリジェクト硬貨フルで停止した場合に表示されます。

機械未調整



ＣＴ－２０が未調整です。
販売店またはサービスへ連絡して下さい。

「表示部②」文字対応表



Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

日々のお手入れ

本製品を末永くご利用頂くためには、日々のお手入れが必要です。清掃方法に従って日々の清掃を心がけて下さい。

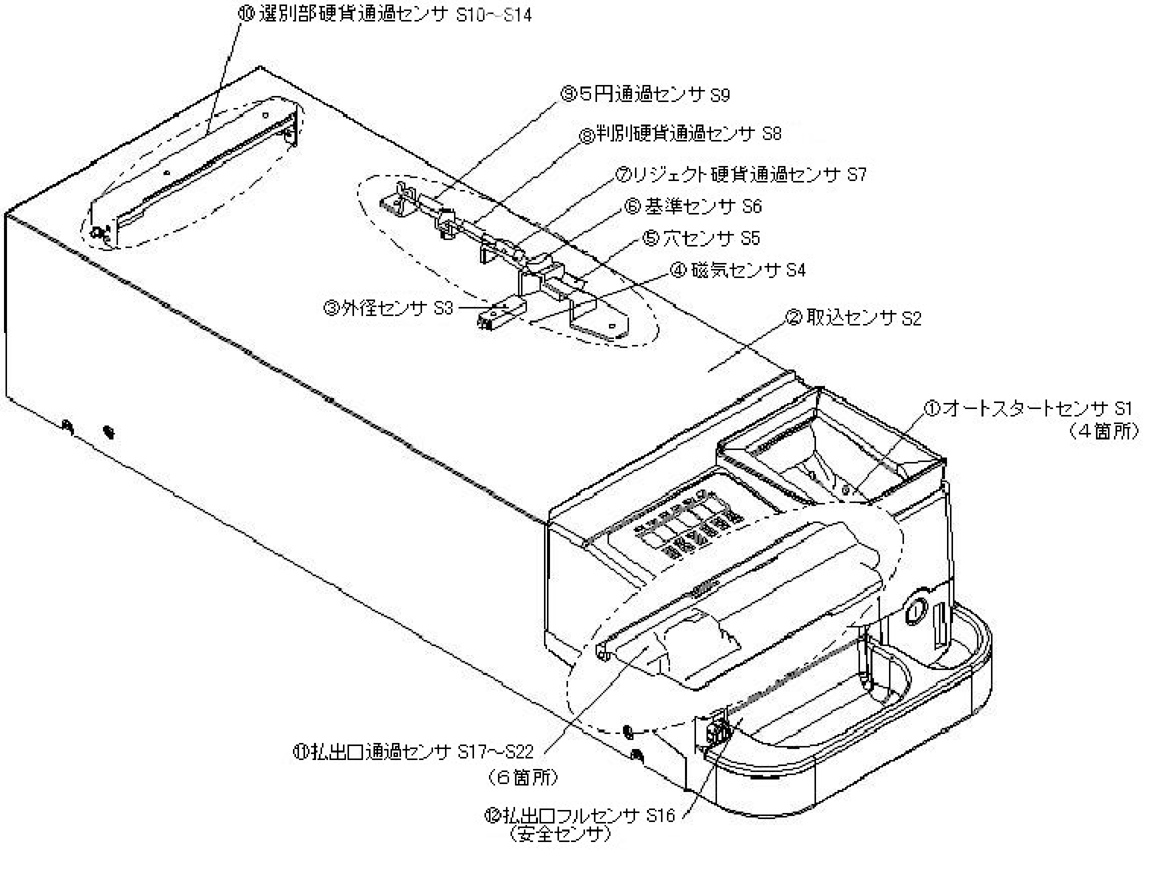
> **⚠ 警 告**
>
> ○ マシンの機構部が作動すると危険ですので、点検や清掃を行う前には、必ず、電源を『OFF』にし、電源プラグをコンセントより抜いてから行ってください。

> **⚠ 確 認**
>
> 清掃LEDが点灯した場合はセンサが汚れているか、投入枚数が5万枚を超えています。センサが点灯してもすぐに使えなくなるわけではありませんが、なるべく早めに掃除を行ってください。

1. 清掃箇所

清掃箇所には毎日行って頂きたい箇所と週一度行って頂きたい箇所、月一度行って頂きたい箇所があります。また、油煙等により搬送ベルトが滑りだす可能性がありますので、特に「E－70～7F」と「E－41～46」が多発する場合は搬送ベルトの清掃を行ってください。

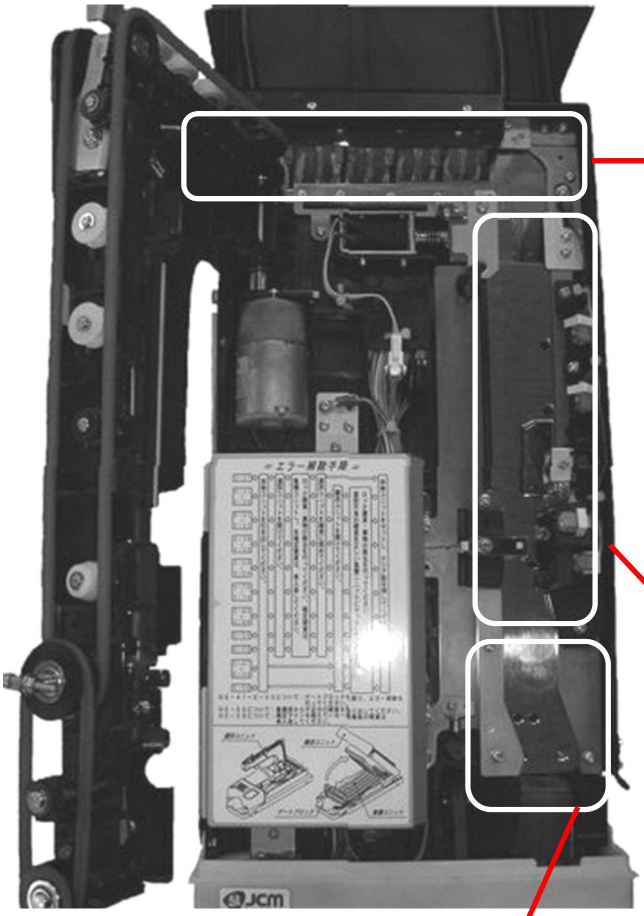
センサ配置図



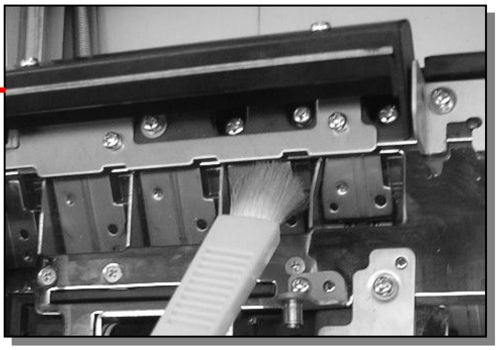
Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

2. 毎日のお手入れ

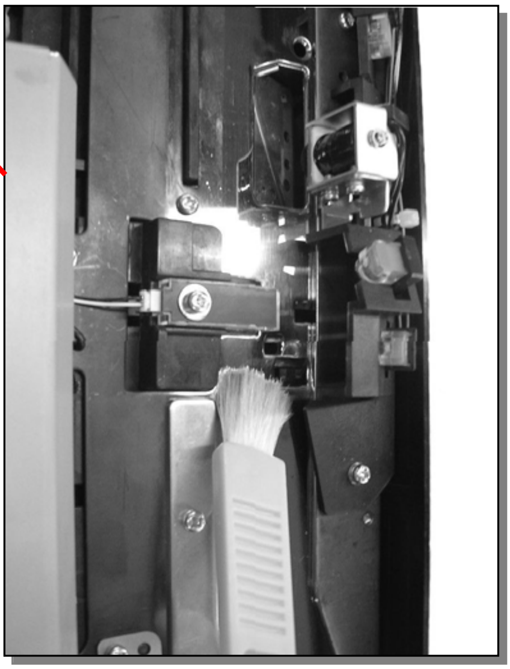
製品を正しく動作させるために、付属のハケで毎日の清掃を心がけてください。
特に毎日欠かさず清掃する必要のある箇所をこちらでご確認ください。



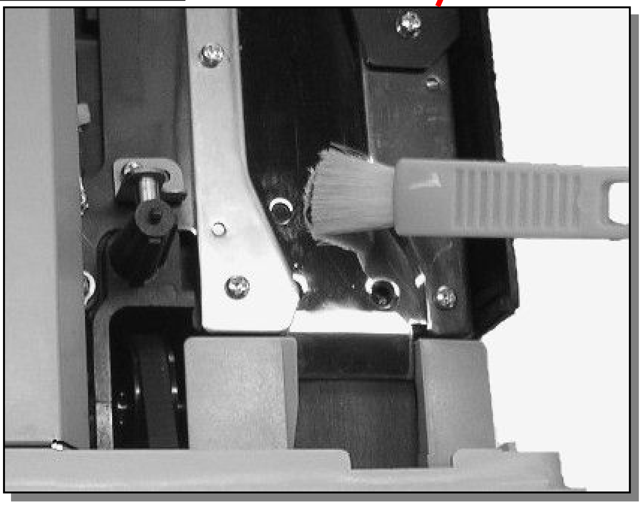
硬貨選別部



硬貨判別センサ類



取込センサ



※　上記の箇所は忘れずに
毎日のメンテナンスとして
清掃してください。

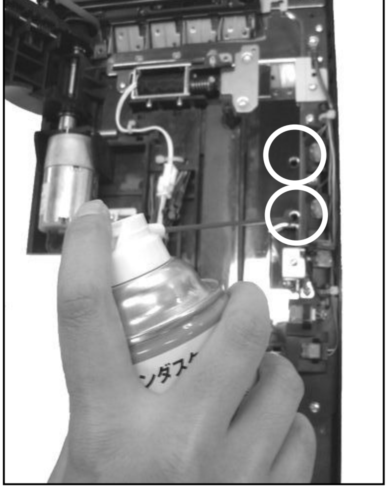
Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

3. センサのお手入れ（1）

センサを正しく動作させるために、週に一度はエアーで下記各部分を吹き飛ばしてください。また、届く範囲の内部センサは綿棒で汚れを軽く拭きとってください。

S1オートスタートセンサ
硬貨入金部の側面にある4箇所のセンサと4箇所の受光部についた異物はエアーで吹き飛ばしてください。

S16払出口フルセンサ
払出トレイの左右にセンサが設置されていますので、異物が有る場合はエアーで吹き飛ばしてください。



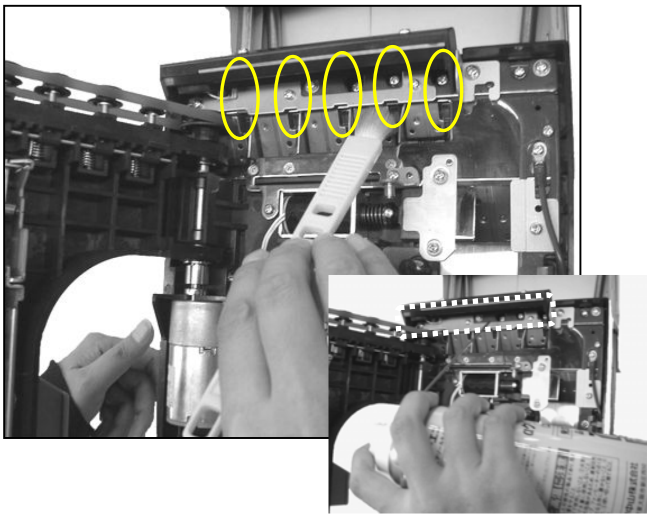
S8～S9判別硬貨通過センサ・5円通過センサ

右側面にあるセンサ部（S8～S9　丸囲）の異物をエアーで吹き飛ばしてください。

Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

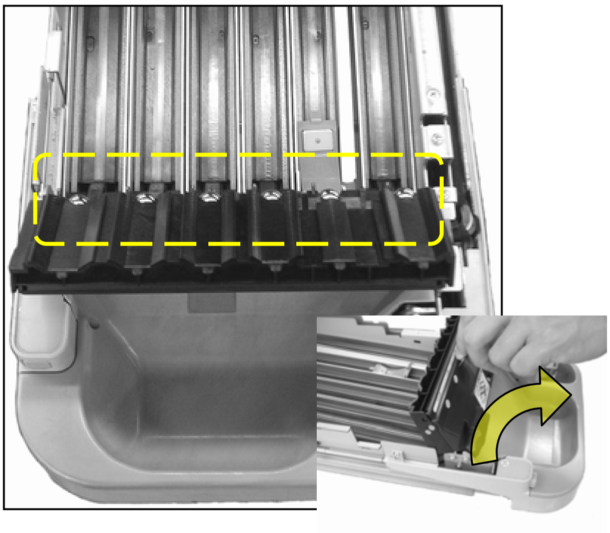
4. センサのお手入れ（2）

センサを正しく動作させるために、下記各部分を月に一度はエアーやハケを使って汚れを軽く拭きとってください。



硬貨選別部のセンサ（S10～S14　丸で囲った部分）についた異物や金属粉をハケで取除いてください。（6ヶ所）

ハケで取り除けない、奥まった部分に対しては、エアーで異物を吹き飛ばしてください。



S17～S22払出口通過センサー（6ヶ所）
手前のゲートブロックを上に開きます。
ゲートブロックの下部の異物をハケで取除きます。

綿棒でのお掃除箇所
S2～S9各種内部センサ

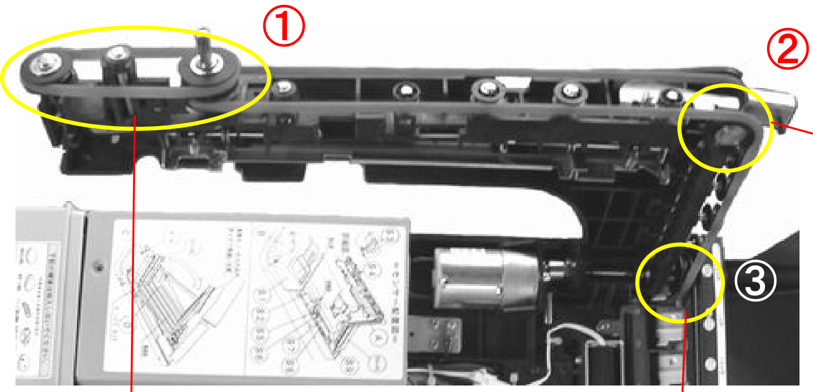
集積カバーを取り外します。
搬送ベース裏側右側面にある各種センサー部の異物を綿棒でやさしく拭き取ってください。

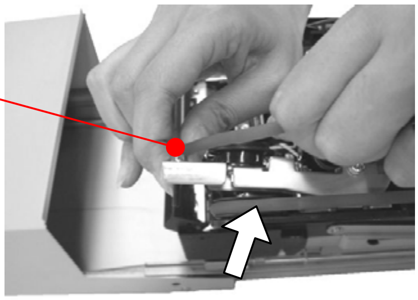
Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

5. 搬送ベルトのお手入れ

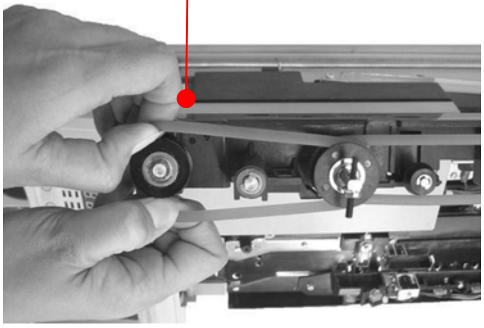
週1回程度の割合で清掃して下さい。

①～④の番号順にベルトをはずして下さい。

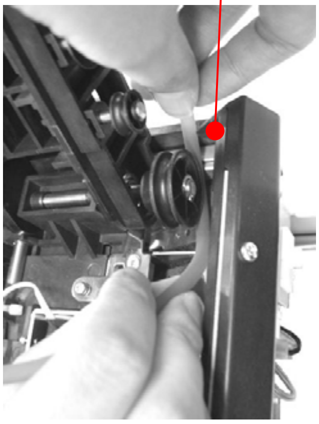


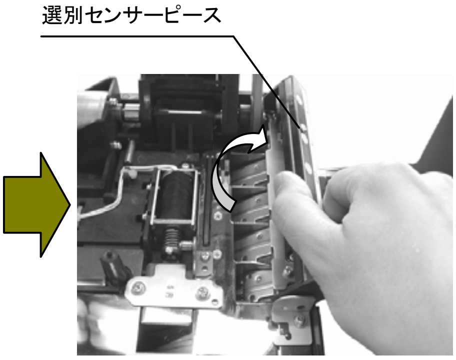


②. 長いベルトを搬送アッパーの角にかかっている部分より取り外します。



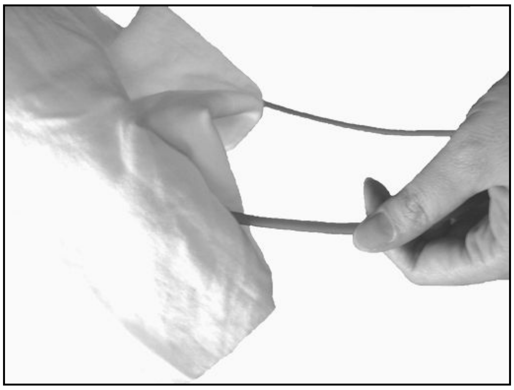
①. 搬送ベルト
開いた状態の搬送アッパー上にベルトが二本あります。
短いベルトを広げて、一番手前からはずします。





③. 長いベルトが緩んだら、一番奥から引き抜いてください。
その際、ベルトを取外す前に「選別センサーピース」を開いて下さい。

※無理に引っ張らずにうまく抜けるよう加減をしながら行ってください。



④. はずした二つのベルトは、やわらかい清潔な布にアルコールを染込ませてやさしく拭いてください。

⑤. **ベルトの取り付け**
ベルとを外した逆の手順で取り付けて下さい。
必ず、<u>長い方のベルトから</u>取り付けるようにして下さい。

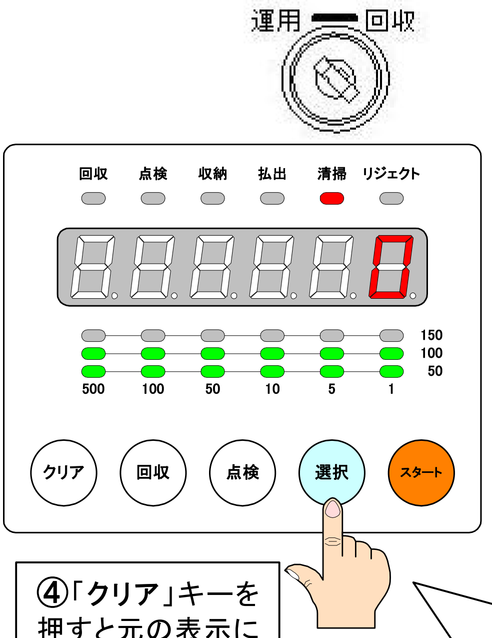
Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

6. 清掃LEDについて

1）清掃LED点灯原因の確認

硬貨投入枚数が5万枚を超えた場合とセンサの汚れた場合の2種類の点灯原因があります。

清掃LED点灯原因の特定

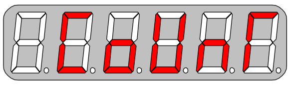


①コントロール錠を「**運用**」の位置にします。

②「**選択**」キーを押すと、点灯原因を「表示部2」に表示します。点灯原因が複数ある場合は、「**選択**」キーを押す毎に切り替わり表示します。
清掃LEDの点灯原因を特定して下さい。

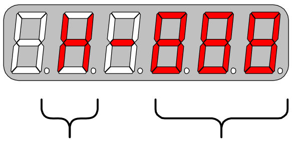
1. 投入枚数5万枚を超えた場合の表示

下記表示の場合は投入枚数が5万枚を超えています。次項の清掃LEDの消灯作業を行って下さい。

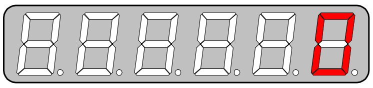


2. センサが汚れた場合の表示

下記表示の場合はセンサが汚れています。センサ位置を特定し、掃除を行って下さい。



④「**クリア**」キーを押すと元の表示に戻ります。



③清掃するセンサ位置の特定

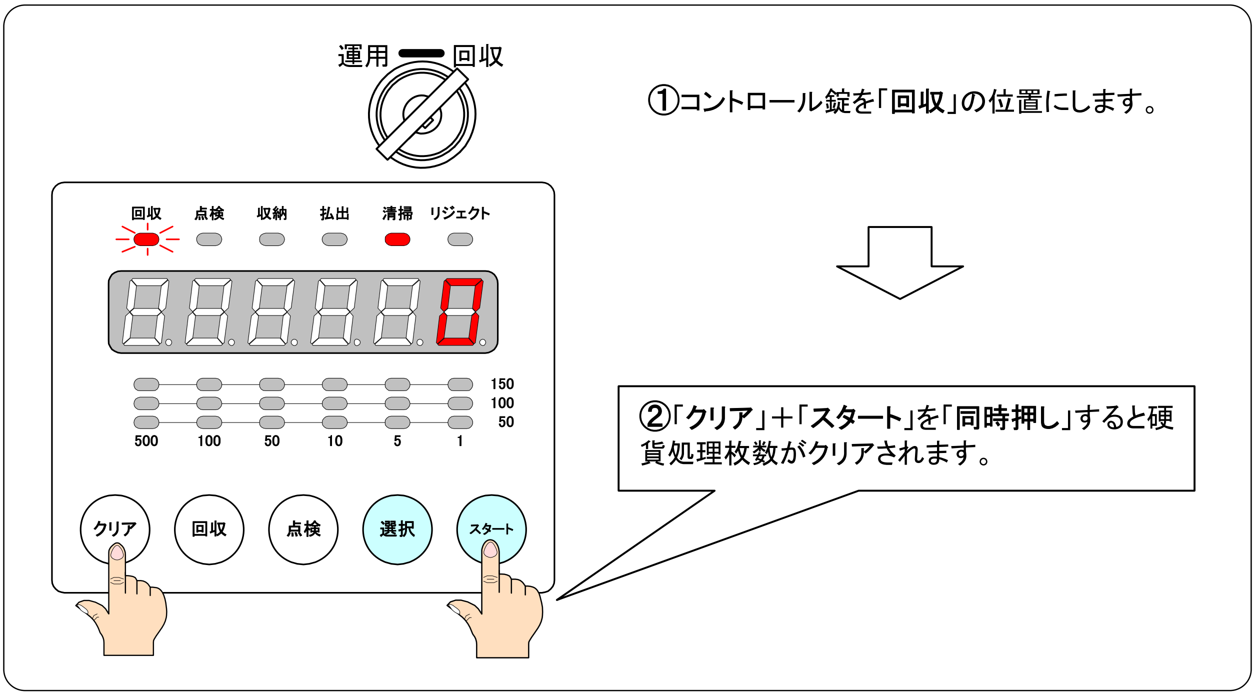
「**選択**」キーを押すと表示部2に下記表示がされます。センサ配置図で確認しセンサの掃除を行ってください。

Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

2）清掃 LED の消灯

硬貨処理枚数のクリアについて記述します。

クリーニングの方法はセンサのお手入れを参照して下さい。



※　硬貨処理枚数をクリアした後も清掃 LED が点灯している場合は、
センサレベルが下がっているので、センサを清掃してください。

Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

設置場所について

小型硬貨釣銭機の設置は、以下の注意事項にしたがって行ってください。
ご使用される方やサービスマンの安全を保護するためにも、正しく設置を行ってください。

⚠ 警 告

◯ 絶対に設置してはいけないところ

- 傾斜や段差がある場所、直射日光が当たる場所、ほこりがひどい場所
- 水周りの近く
- 粉塵が多い
- 床が丈夫ではない
- 屋　外
- 振動がある
- 危険物の近く

以上の場所に設置した場合、トラブルの原因になる場合があります。

◯ マシンを配線するときは、冷凍機などのノイズの発生しやすい機器はできる限り近くに設置しないでください。また、同一コンセントでの使用やタコ足配線などはしないでください。火災・感電・漏電の恐れがあります。

◯ プラグは機械の近くのコンセントに接続し、コンセントは人が容易に近づけるところにしてください。

◯ マシンの上には、花瓶・植木鉢・コップなどの水が入った容器または金属物を置かないでください。こぼれてマシンの中に入った場合、火災・感電の恐れがあります。

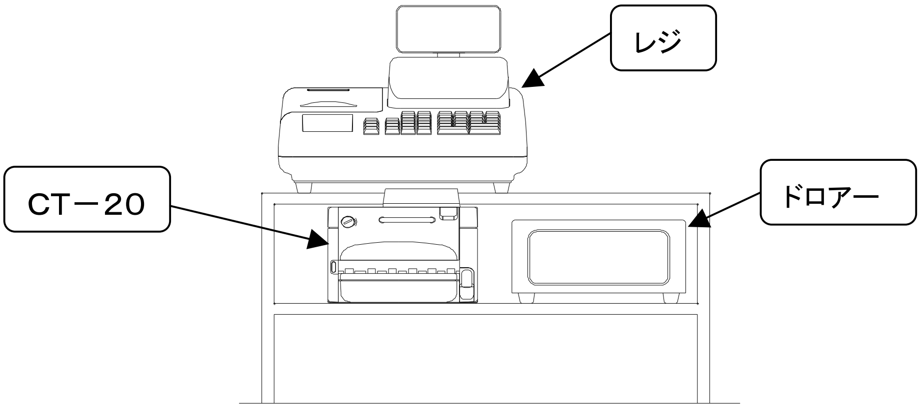
◯ 設置する場所が次の条件を満たしているかを確認してください。

定格電圧	AC100V±10%　50／60Hz
温　度	5 ℃ ～ 40℃
湿　度	30% ～ 80%（ただし、結露しないこと）

<u>この条件を満たさない場所への設置は、絶対行わないでください。</u>

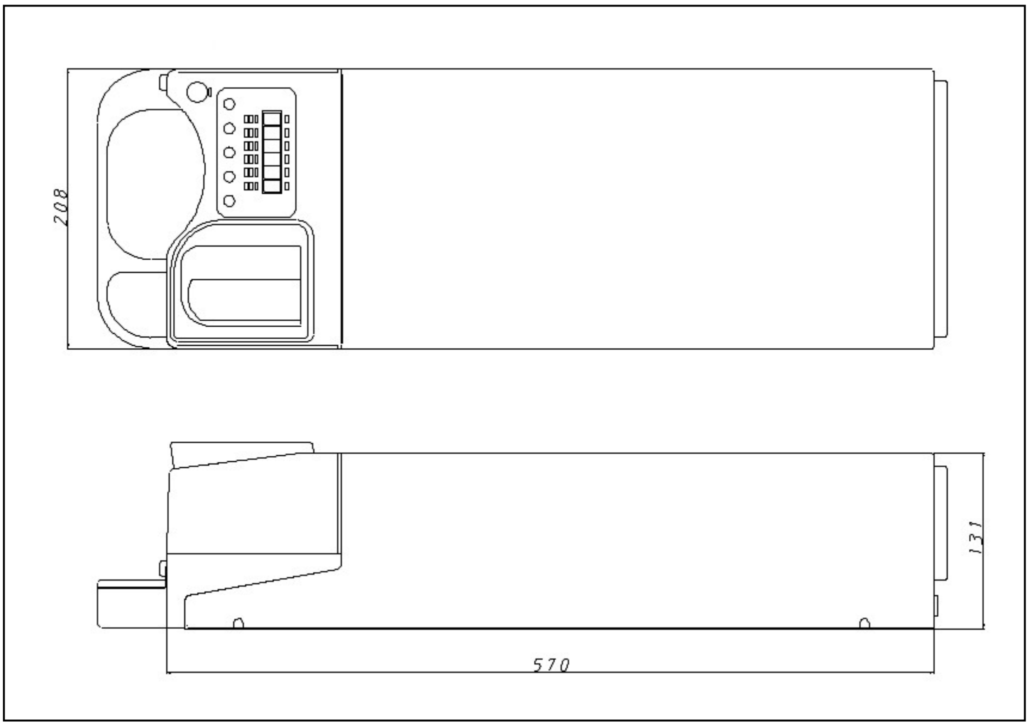
1．設置例

※必ずレジスターの下に設置してください。（ごみ等の侵入を防ぐ為）



Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

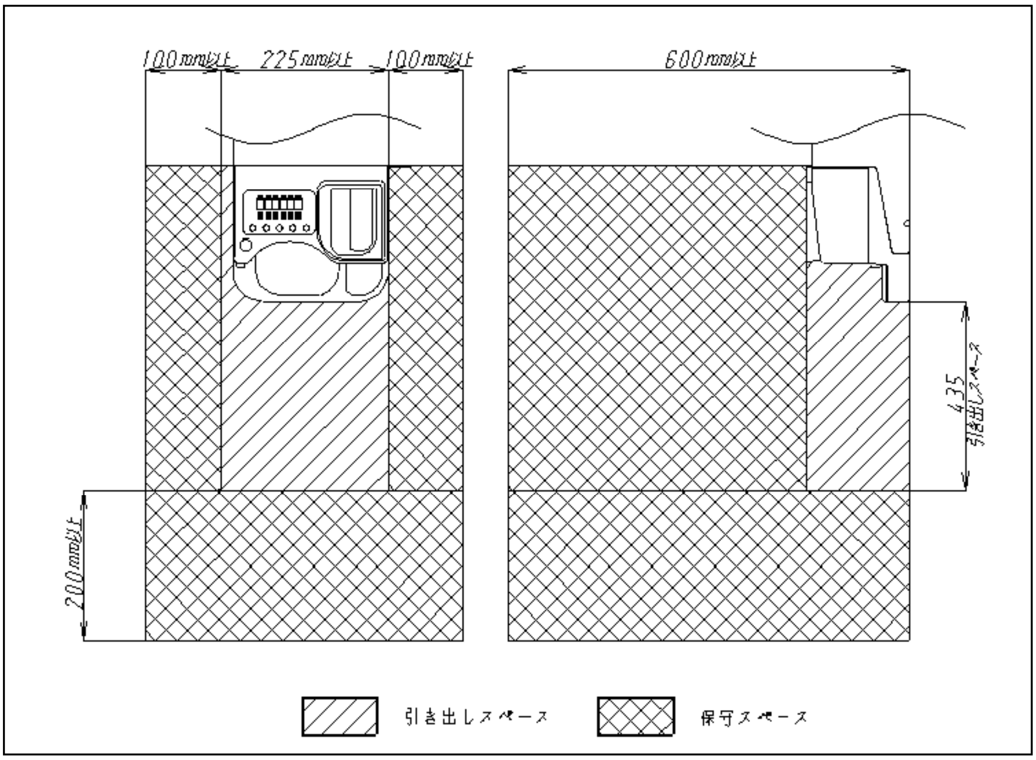
２. 外形寸法図



３. 設置寸法

○ 設置場所のスペースを確保してください。

必要なスペースを確保してから設置作業を行ってください。



Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

製品仕様

1．入金適用硬貨

①国内流通硬貨　　6金種（新旧 500 円、100 円、50 円、10 円、5 円、1 円）

②硬貨（媒体）条件

500円：昭和57年以降
100円：昭和42年以降
50円：昭和42年以降
10円：昭和26年以降
5円：昭和24年以降
1円：昭和30年以降

但し、変形硬貨、摩耗硬貨、記念硬貨、旧硬貨、古銭、外国硬貨及び、水濡れ硬貨、油付き硬貨を入金するとトラブルが発生しますので絶対に投入しないで下さい。
尚、昭和24～28年製の5円硬貨（明朝体文字）で上記条件値より少し外径寸法の大きい硬貨と外形のコーナー部に丸みがある100円硬貨では、トラブルが生じる可能性がありますので御注意願います。

2．入 金 部

投　入　　6金種混合一括投入
投入容量　　50枚以下（100円硬貨にて）
処理速度　　約300枚／分
自動スタート　　あり（光学式検知）
ロック解除機能　　あり（自動反転方式にて解除）

3．リジェクト返却部

・リジェクト返却口　約5枚（100 円硬貨にて）

4．選別計数部

・処理能力　　約300枚以上／分（100 円硬貨にて）

5．集積部

・集積容量　　500円、5円：120枚　その他金種　：151枚

6．出金部

・出　金　　6金種混合出金
・出金口容量　　61枚以下（100円硬貨にて）
・出金速度　　約1秒以内／999円

7．回収

・回収－1　　1金種ごとの全回収（50枚単位ごとにキー入力）
・回収－2　　6金種の自動全回収
・回収－3　　各金種10枚ごとの一部回収
・回収－4　　残値回収

8．表示／操作部

・表　示　　7セグメントLED × 6個
（金額、枚数、エラーコード、モードの表示）
・操作キー　　ストロークキースイッチ × 5個
（クリア、回収、点検／選択、スタート）
・モード切り換え　　運用モード（キー抜け）、回収モード（キー抜け不可）

9．通信部

・外部接続用　　RS－232C：1個（MIN DIN コネクタ）

10．外形寸法／重量

・寸　法　　208（W）×570（D）×131（H）　mm
（凹凸を除く）
・重　量　　約15．0kg

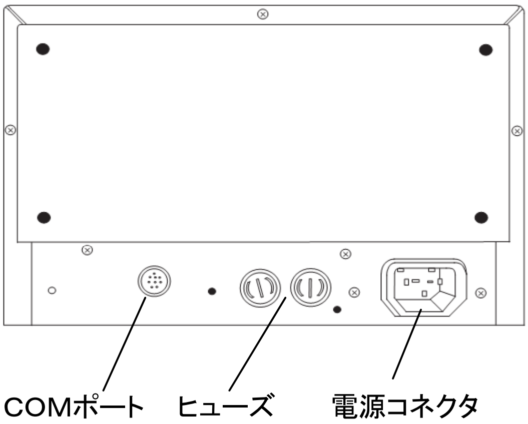
Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

環境仕様

・電　源　　　AC100V±10%　（50／60Hz±2Hz）
・消費電力　　動作時：55W以下
・温　度　　　＋5℃　～　＋40℃
・湿　度　　　30%　～　80%（結露なきこと）
・電磁波障害　VCCI　クラスA情報処理装置の規格に適合しています。

ｖなお、本仕様および上記装置・ユニットは機能向上のため、予告なく変更する場合があります。

接続仕様

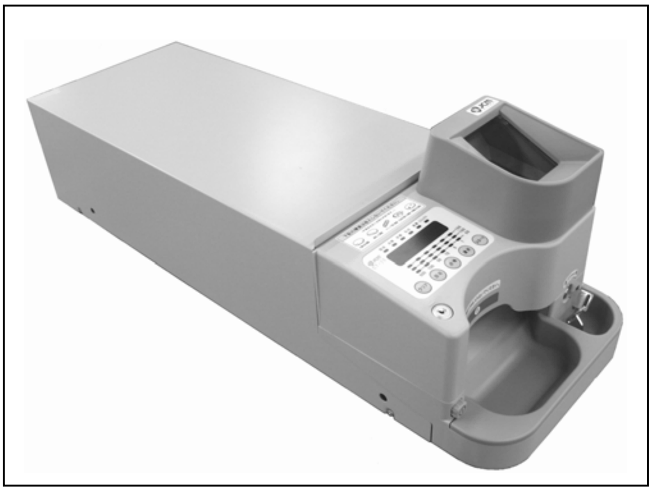


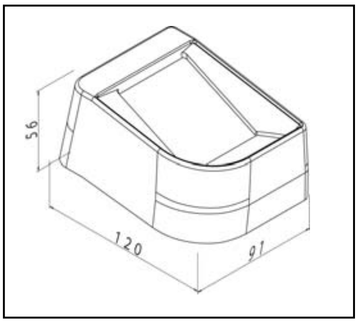
メーカーオプション（工場出荷時にセットされます。）

・投入口ダストガード

防塵防油煙パーツ

ご利用になられる環境によっては、ごみや油煙が大変多く誤動作する場合があります。
このパーツを装着すれば硬貨投入時のごみや油煙等の混入を防ぎ快適にご利用頂けます。
装着にあたっては、販売店等にご相談ください。





Copyright ©2008 Japan Cash Machine Co.Ltd.

小型硬貨釣銭機(CT-20)
取扱説明書

２００８年7月　　　　　VOL.００１
発行　日本金銭機械株式会社
〒547-0035　大阪市平野区西脇２－３－１５
℡　０６－６７０３－８４０６

【取扱販売店】